

南

予

地

域

合計特殊出生率（2012～16年平均）

市町	合計特殊出生率
愛媛県	1.46
八幡浜市	1.39
大洲市	1.60
西予市	1.56
内子町	1.25
伊方町	1.55
宇和島市	1.57
松野町	1.19
鬼北町	1.62
愛南町	1.48

年齢階級別出生率（女性人口千対）

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
愛媛	5.4	39.9	97.3	95.8	45.5	8.3	0.2
八幡浜市	3.5	37.8	102.4	95.7	48.2	7.1	0.2
大洲市	4.0	42.2	108.1	95.2	47.8	7.2	0.2
西予市	3.4	37.9	107.1	96.9	48.6	7.5	0.2
内子町	3.9	37.8	103.0	93.8	47.6	7.6	0.2
伊方町	3.7	38.4	106.1	95.2	48.9	7.3	0.2
宇和島市	5.7	43.9	115.9	94.1	41.8	9.2	0.2
松野町	5.4	42.4	114.7	92.6	42.4	9.1	0.3
鬼北町	5.2	42.4	116.6	94.4	41.8	9.0	0.4
愛南町	5.3	42.8	113.8	94.2	42.0	8.7	0.2

- 合計特殊出生率は市町によってばらつきがみられるが、6市で平均を上回っている。年齢階級別出生率は25～29歳で県平均を大きく上回るものの、30～34歳以上で県平均を下回る市町が多い。
- 年齢階級別出生率を圏域別にみると、八幡浜圏域（八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町）は25～29歳で高く、宇和島圏域は20～24歳、25～29歳、40～44歳で高い。

子どもを産むときに重視したこと（アンケート結果）

子どもが1人の人が産むときに重視したこと

子どもが2人の人が産むときに重視したこと

子どもが3人以上の人が産むときに重視したこと

アンケートにみる南予の特徴

「世帯収入」…課税所得は1市を除き県平均より低くなっているが、あまり重視する傾向にはない

「夫が正社員」…男性の正規従業員割合は市町によってばらつきがみられるが、全体的に重視していない

「妻が正社員」…夫に比較し妻が正社員かどうかを重視しており、女性の正規従業員割合も8市で平均を上回っている。男性と比べ市町間のばらつきも少ない

「妻の年齢」…子どもが2人の人、3人以上の人で重視する傾向がある。平均出産年齢は市町によって差がある

「通勤距離・時間」…通勤時間はすべての市町で県平均よりも短く、子どもが1人の人は重視するものの2人以上は重視しない

「配偶者の家事・育児協力」…第1子、2子で重視する傾向がある

課税所得

市町	課税所得 (千円)
愛媛県平均	2,639
八幡浜市	2,643
大洲市	2,589
西予市	2,445
内子町	2,398
伊方町	2,453
宇和島市	2,558
松野町	2,118
鬼北町	2,509
愛南町	2,542

資料：総務省 平成27年度「市町村税課税状況等調」

通勤時間

市町	通勤時間 (分)
愛媛	18.7
八幡浜市	16.0
大洲市	17.2
西予市	16.5
内子町	18.2
伊方町	14.8
宇和島市	14.8
松野町	14.8
鬼北町	14.8
愛南町	11.3

資料：総務省 平成25年「住宅・土地統計調査」

正規従業員割合

男性

市町	正規従業員割合 (%)
愛媛県	84.3
八幡浜市	86.7
大洲市	84.8
西予市	84.6
内子町	84.1
伊方町	87.9
宇和島市	83.3
松野町	73.7
鬼北町	80.9
愛南町	83.9

資料：総務省 平成27年「国勢調査」

女性

市町	正規従業員割合 (%)
愛媛県	47.7
八幡浜市	51.2
大洲市	50.9
西予市	52.7
内子町	49.9
伊方町	48.5
宇和島市	50.4
松野町	50.2
鬼北町	53.9
愛南町	47.5

第1子・第2子・第3子以上の母親の平均出産年齢（2012～16年平均）

第1子

市町	平均出産年齢 (歳)
愛媛県	29.0
八幡浜市	29.1
大洲市	28.3
西予市	29.3
内子町	28.4
伊方町	29.1
宇和島市	28.6
松野町	30.8
鬼北町	29.5
愛南町	28.1

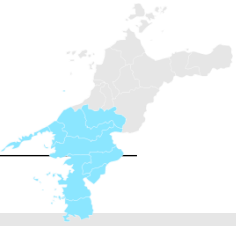
第2子

市町	平均出産年齢 (歳)
愛媛県	31.0
八幡浜市	31.1
大洲市	30.3
西予市	31.0
内子町	30.9
伊方町	30.9
宇和島市	30.7
松野町	30.9
鬼北町	30.3
愛南町	31.2

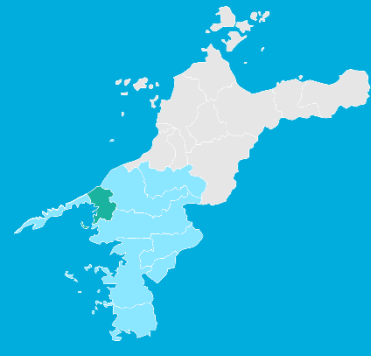
第3子以上

市町	平均出産年齢 (歳)
愛媛県	32.6
八幡浜市	32.9
大洲市	32.4
西予市	33.0
内子町	33.8
伊方町	32.2
宇和島市	32.7
松野町	34.0
鬼北町	32.4
愛南町	33.0

57



# 八幡浜市



- 合計特殊出生率は県平均よりも0.07低く、県内では13位となっている。
- グラフ3「①年齢階級別女性有配偶率」をみると、25～29歳で県平均を0.017ポイント下回るが、それ以外の年齢階級では20～24歳が0.027ポイント、30～34歳が0.018ポイント上回り、全体（15～49歳）でも県平均を0.018ポイント上回る。
- P.57「第1子・第2子・第3子以上の母親の平均出産年齢」をみると、母親の平均出産年齢は第1子から第3子以上まで県平均並みである。
- また、全体の有配偶出生率が大きく下回るのは、年齢の高い階級の有配偶率に影響されていることが考えられる。

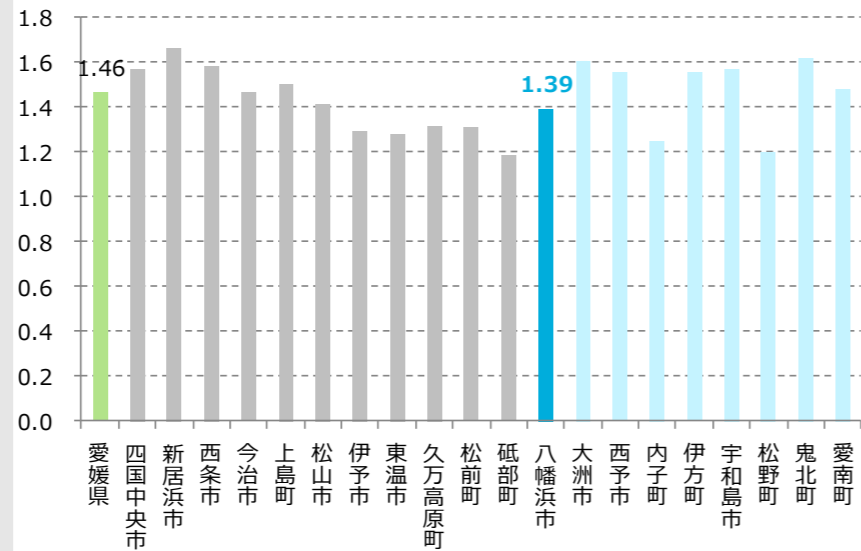
合計特殊出生率  
(2012～2016年平均)

# 1.39

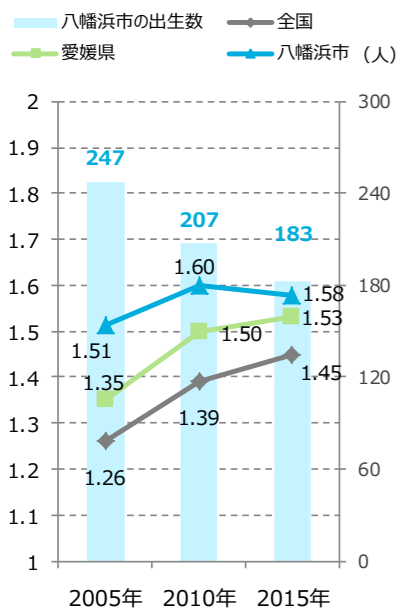
愛媛県との差 -0.07/13位

バイズ推定値

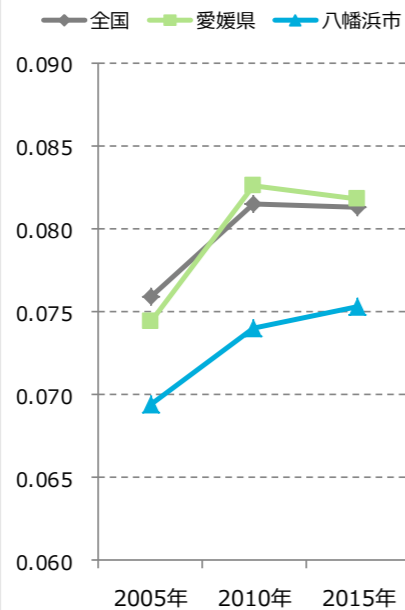
# 1.47



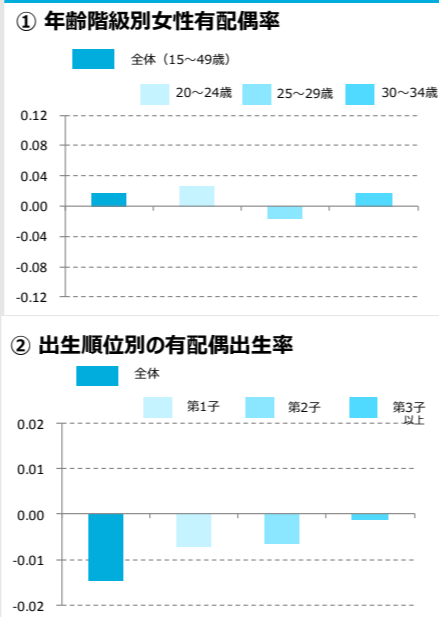
## 1. 合計特殊出生率の推移 (バイズ推定値)



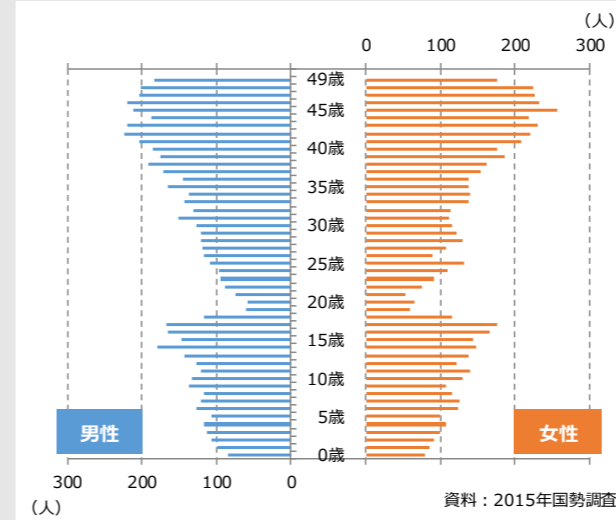
## 2. 有配偶出生率の推移 (バイズ推定値)



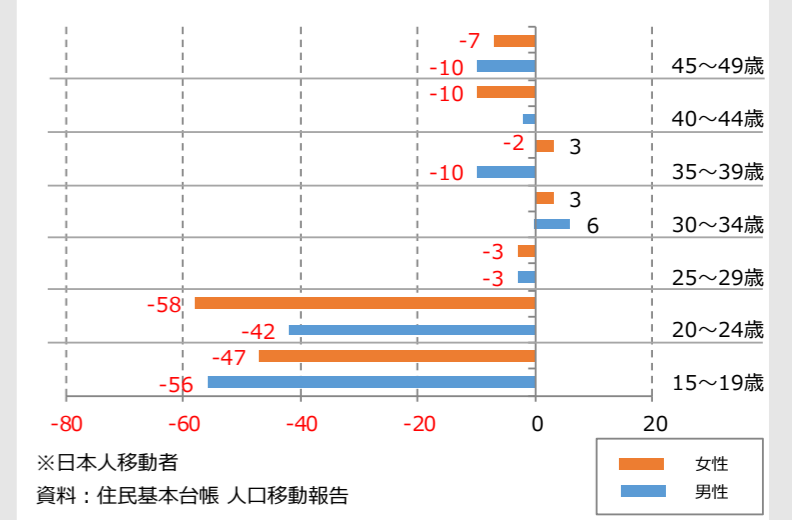
## 3. 愛媛県との差



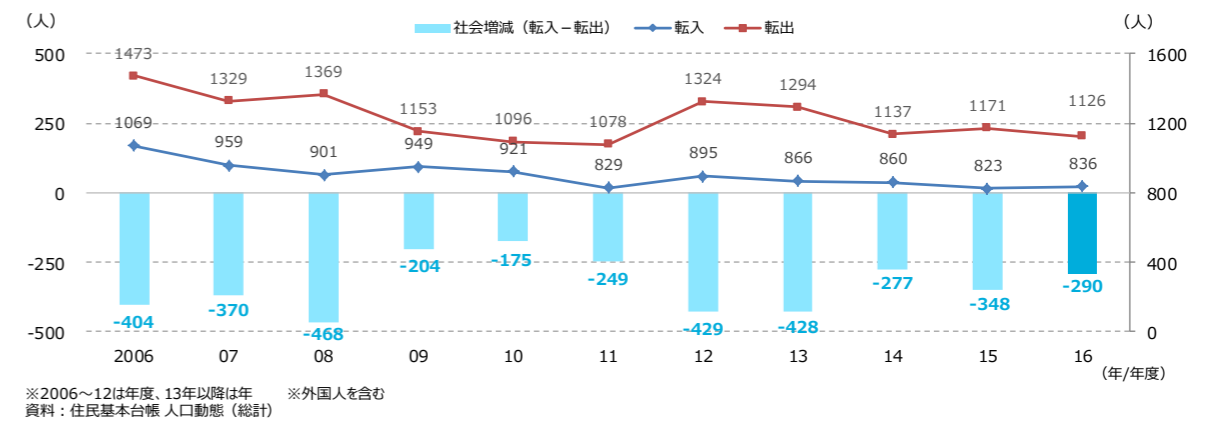
## ■人口



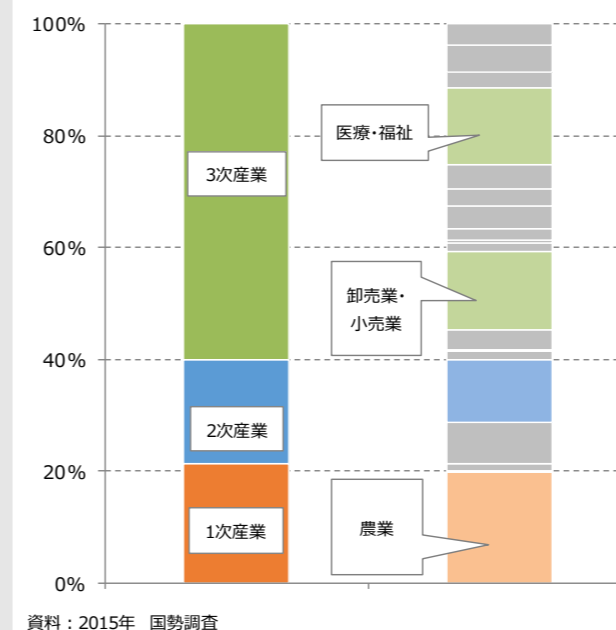
## ■年齢、男女別社会増減 (2017年)



## ■社会増減推移



## ■産業別従事者



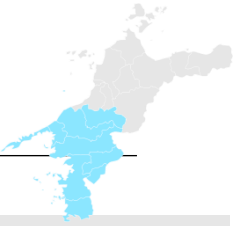
## ■コラム

### 切れ目ない支援の実現を目指した 子育てリレーファイル「みかん」

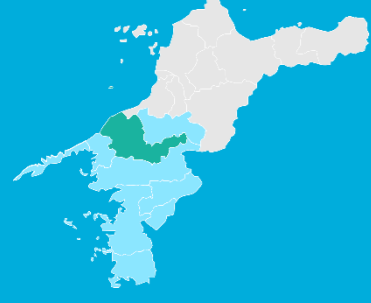
八幡浜市では、発達障がいへの理解等を目指し、就学や養育に関する保護者の不安や悩みに応えるため、リーフレットを発行している。さらに、子どもの情報を関係者が共有できる、切れ目ない支援の実現を目指して、子育てリレーファイル「みかん」を発行。28年度に新生児が誕生した保護者全員に配布している。

また、29年度から開始された愛顔の子育て応援事業について、八幡浜市では独自に28年4月1日以降に第2子以降が生まれた世帯を対象としており、市として上乗せ補助を行っている。こういった取組みを紹介する「はまっこ」というサイトを作成し、市民に周知している。





# 大洲市



- 合計特殊出生率は県平均を0.14上回り、県内では3番目に高い。
- グラフ3「①年齢階級別女性有配偶率」をみると、20～24歳、25～29歳で高くなっている。
- P.57「第1子・第2子・第3子の母親の平均出産年齢」をみると、母親の平均出産年齢がすべて県平均を下回っていることから、結婚・出産のタイミングが県平均より早いことが推測される。
- グラフ3「②出生順位別の有配偶出生率」をみると、第3子以上の有配偶出生率が高くなっており、合計特殊出生率を押し上げている要因の1つと言えるのではないかと。

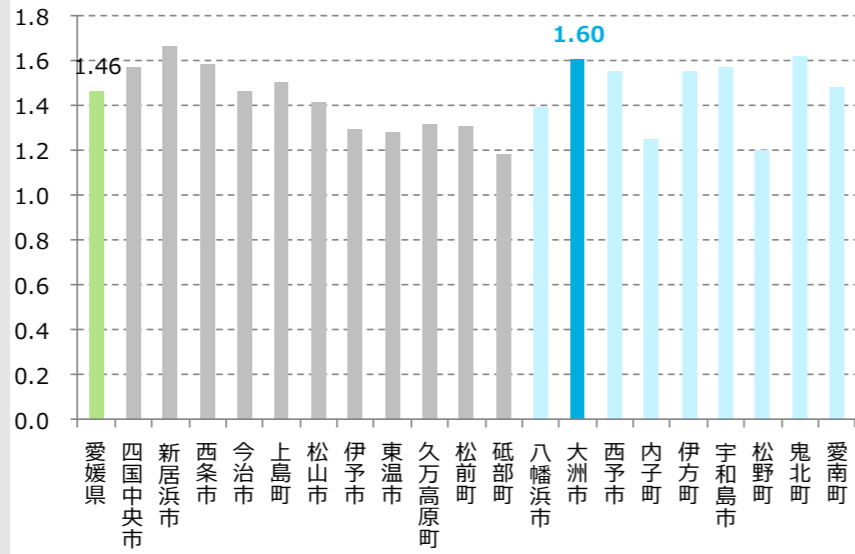
合計特殊出生率  
(2012～2016年平均)

# 1.60

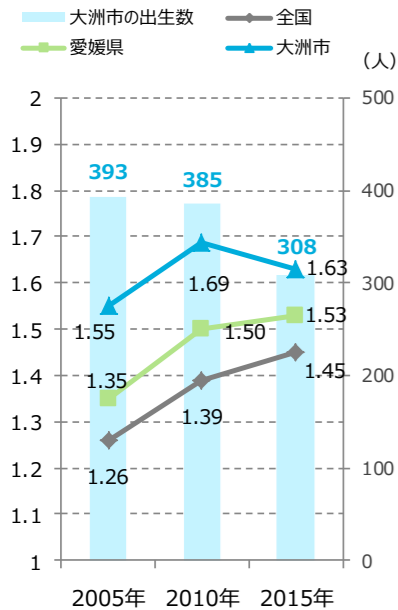
愛媛県との差 +0.14/3位

ベイズ推定値

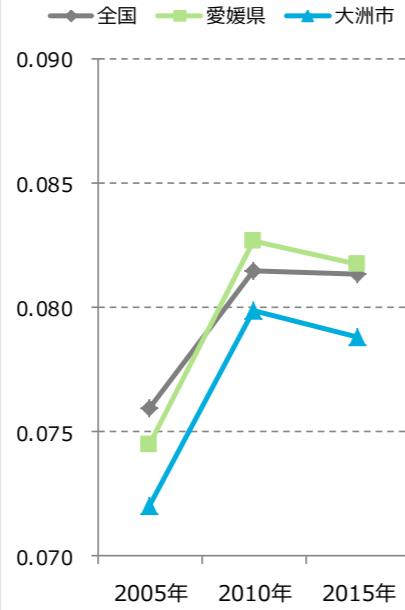
# 1.52



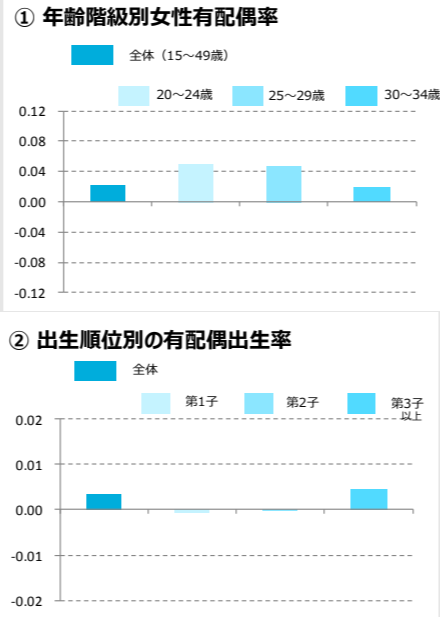
## 1. 合計特殊出生率の推移 (ベイズ推定値)



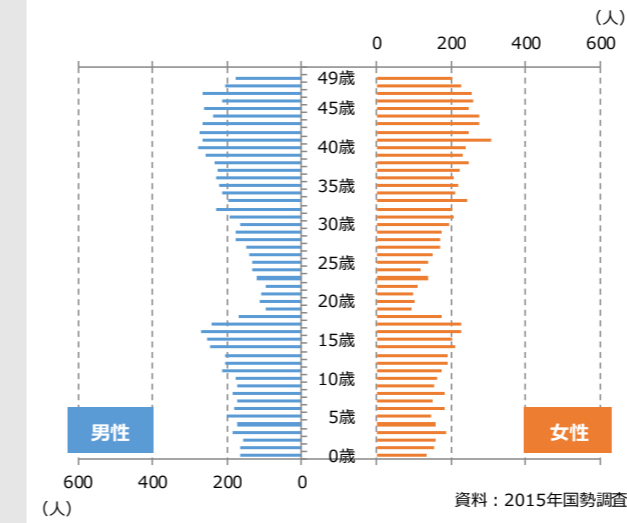
## 2. 有配偶出生率の推移 (ベイズ推定値)



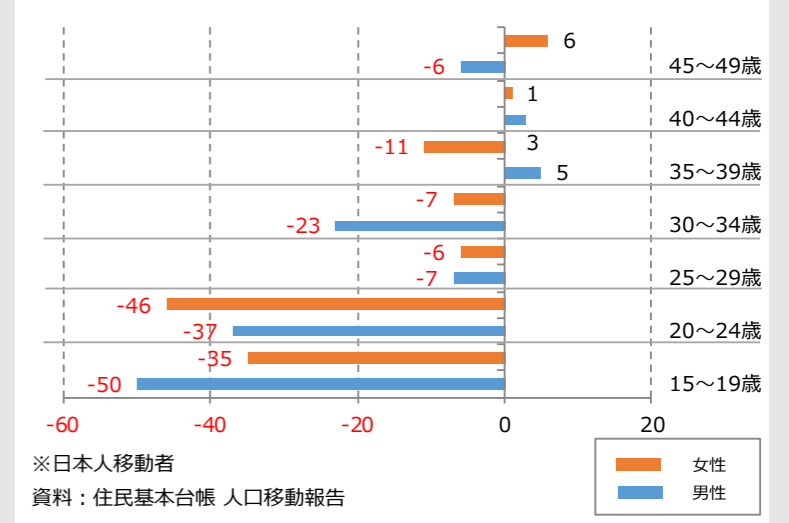
## 3. 愛媛県との差



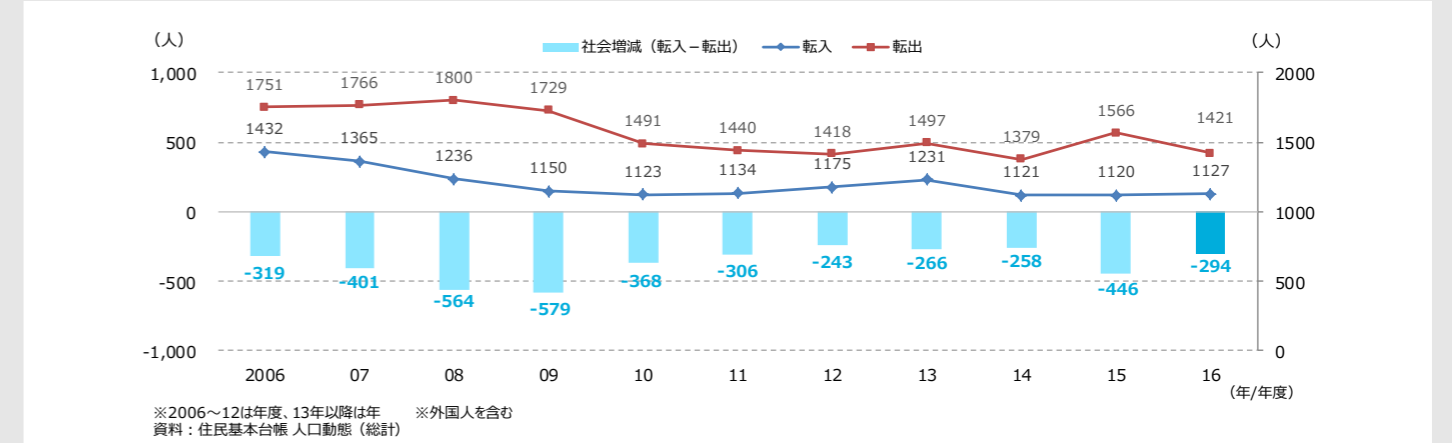
## ■人口



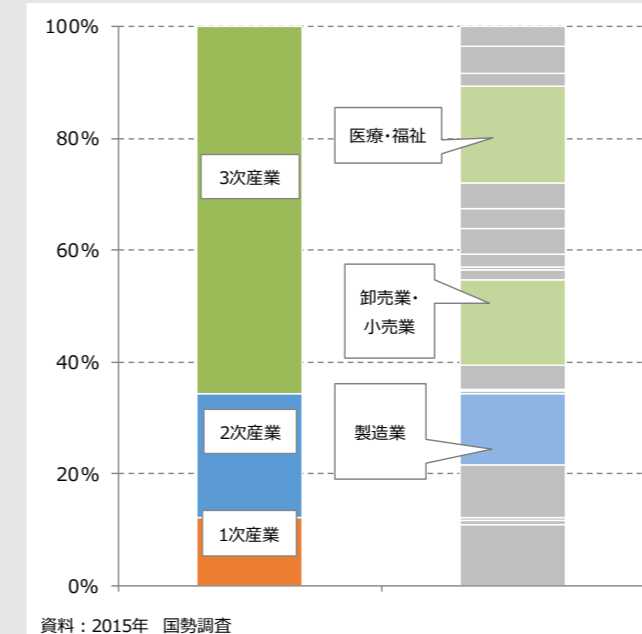
## ■年齢、男女別社会増減 (2017年)



## ■社会増減推移



## ■産業別従事者



## ■コラム

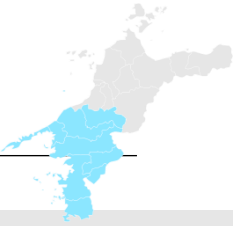
### 第3子以降に重点を置いた負担軽減

大洲市では、子育て世帯は医療費・保育料が第3子以降無料化(軽減)される。また、安心して暮らせる居住環境も評価されている。国道56号、高速道路、JRが通り、交通の利便性も高く、松山市も通学・通勤圏内となっているため、住みよさランキングの安心度・利便度は県内1位(2016年度(株)東洋経済新報社調べ)。

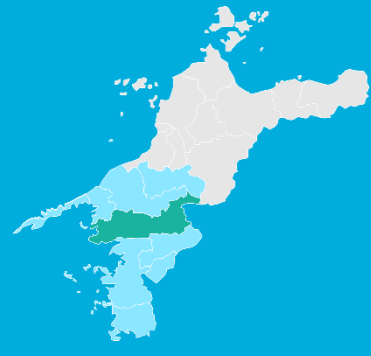
### 結婚・子育て支援を一目で

住まいや仕事のほか、結婚・子育てなどの支援制度が一目で分かる移住・定住支援パンフレットで暮らしをまるごと応援。





# 西予市



- 合計特殊出生率は県平均を0.10上回り、7位となっている。
- グラフ3「①年齢階級別女性有配偶率」をみると、すべての年齢階級で女性有配偶率が県平均を上回っている。
- 一方、P.57「第1子・第2子・第3子の母親の平均出産年齢」をみると、母親の平均出産年齢は県平均並みである。
- グラフ3「②出生順位別の有配偶出生率」は、第1子は県平均よりも0.006ポイント、第2子は0.002ポイント下回り、全体でも県平均を0.003ポイント下回っているが、第3子については県平均を0.005上回っている。

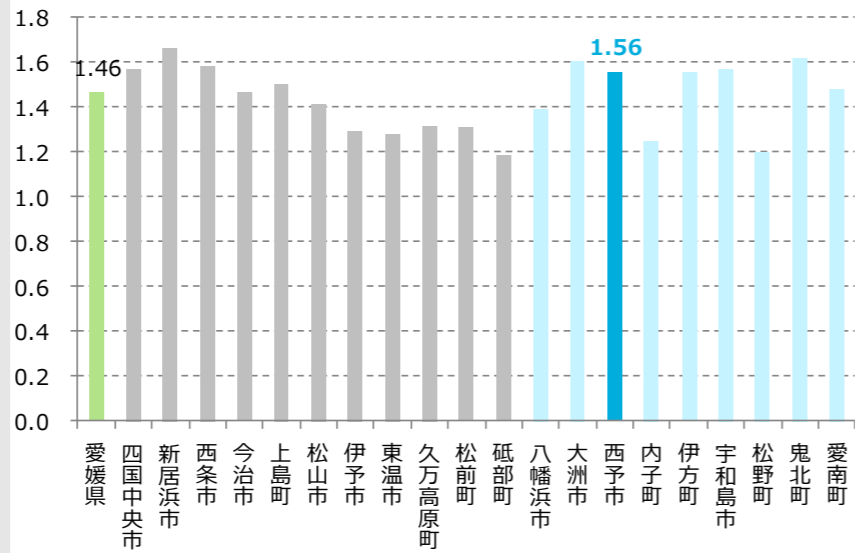
合計特殊出生率  
(2012～2016年平均)

# 1.56

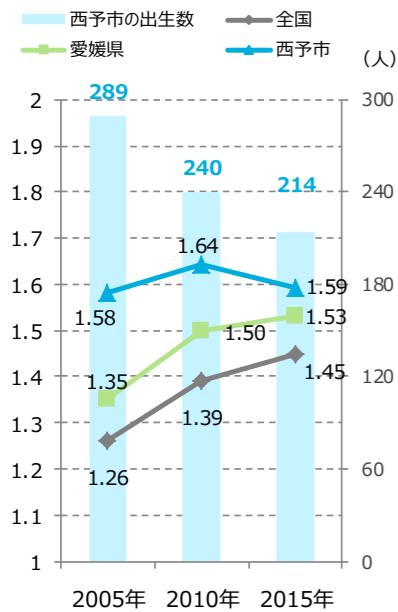
愛媛県との差 +0.10/7位

ベイズ推定値

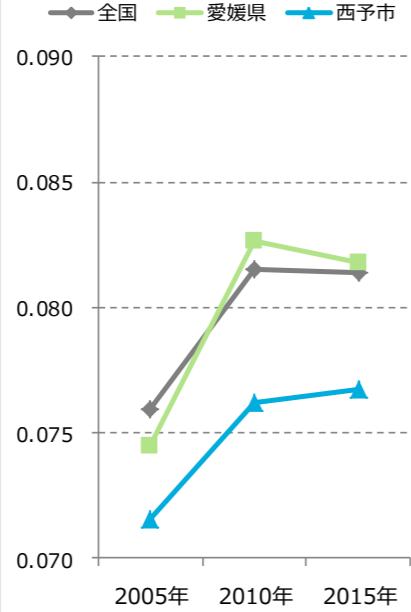
# 1.51



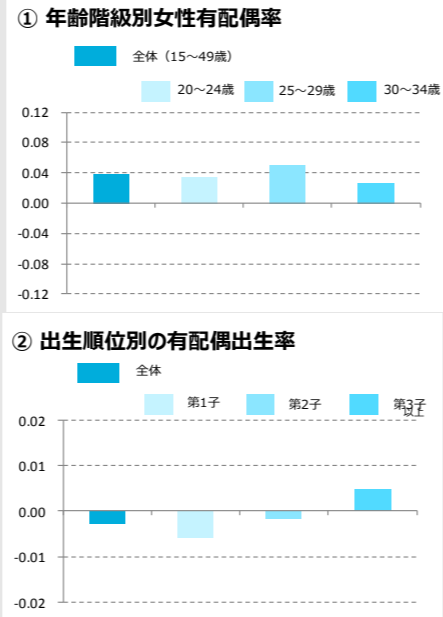
## 1. 合計特殊出生率の推移 (ベイズ推定値)



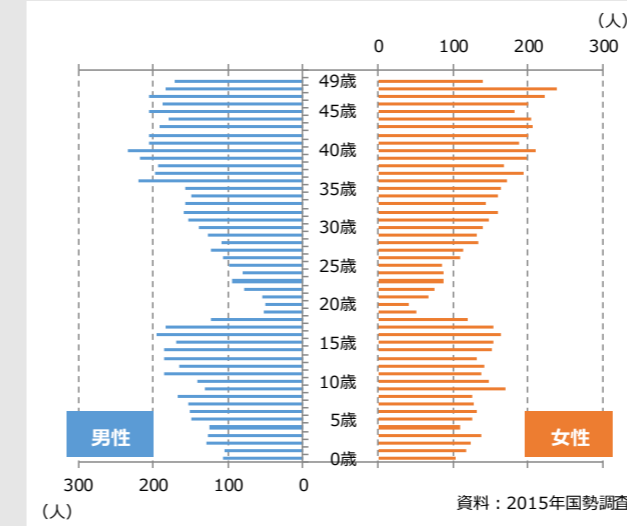
## 2. 有配偶出生率の推移 (ベイズ推定値)



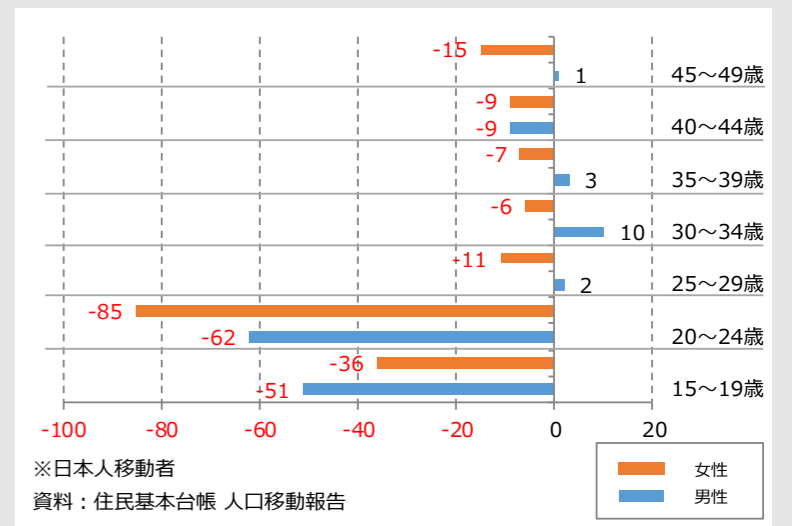
## 3. 愛媛県との差



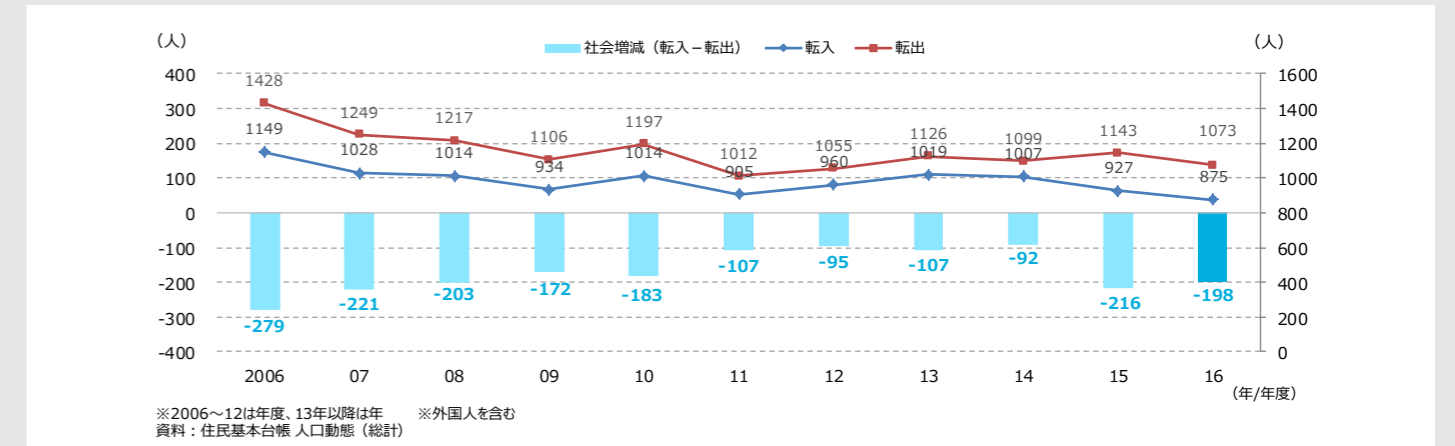
## ■人口



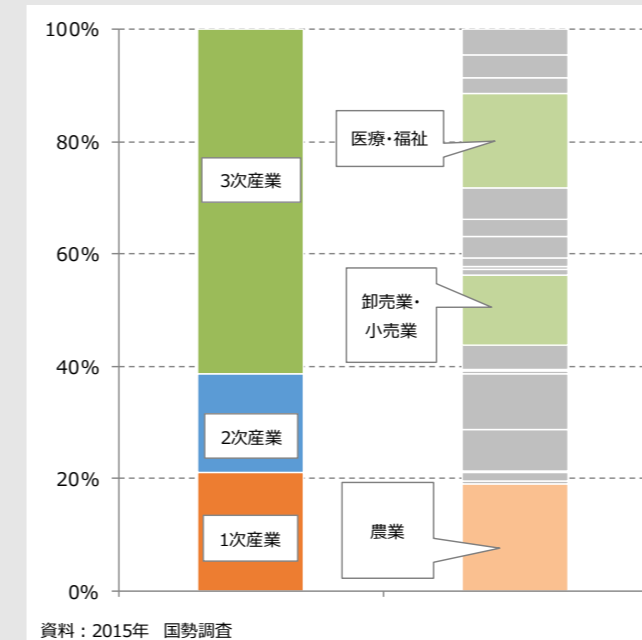
## ■年齢、男女別社会増減 (2017年)



## ■社会増減推移

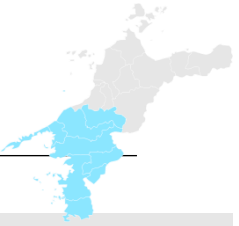


## ■産業別従事者

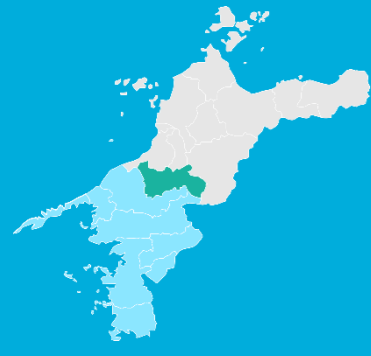


## ■子ども・子育て支援事業計画

- 将来像 ●●
- 子育てするなら西予
- 基本目標 ●●
- 1 多様なニーズに応じた保育所(園)・幼稚園などの充実
  - 2 地域で子育てがしやすい環境の整備
  - 3 援護を必要とする子育て家庭への支援
  - 4 職業生活と家庭生活との両立の推進
  - 5 子育てにかかわる教育環境の整備
  - 6 情報提供・情報発信
  - 7 母子保健医療対策の充実
  - 8 子ども・子育てを支援する生活環境と安全の確保。



# 内子町



- 合計特殊出生率は県平均を0.21下回っており、県内では18位である。
- グラフ3「①年齢階級別女性有配偶率」をみると、全体の女性有配偶率は県平均を0.035上回っているものの、20～24歳、25～29歳の女性有配偶率が県平均を下回っている。
- グラフ3「②出生順位別の有配偶出生率」も、全体で県平均を0.015ポイント下回っている。
- 右ページの「年齢、男女別社会増減」をみると、25～29歳、30～34歳、35～39歳のいずれも男女とも増加しており、今後出数の増加につながる事が期待される。

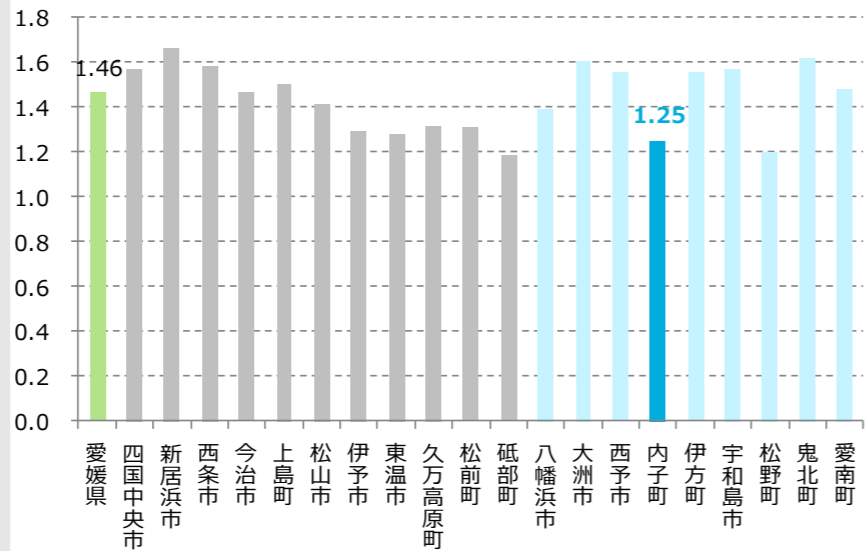
合計特殊出生率  
(2012～2016年平均)

# 1.25

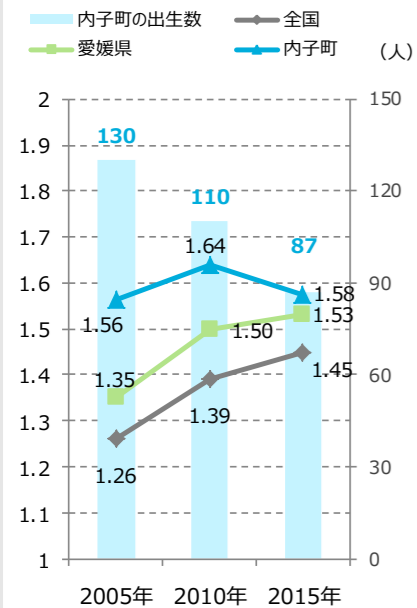
愛媛県との差 -0.21/18位

ベイズ推定値

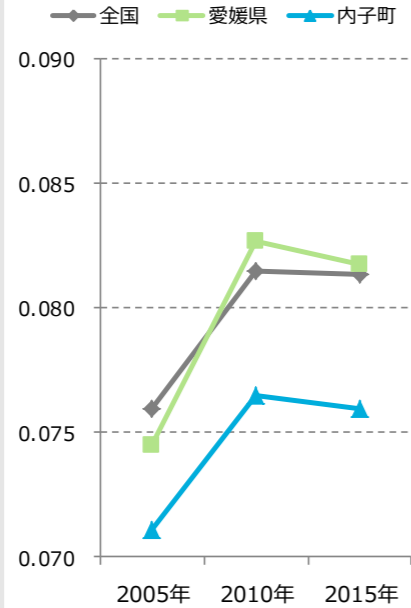
# 1.47



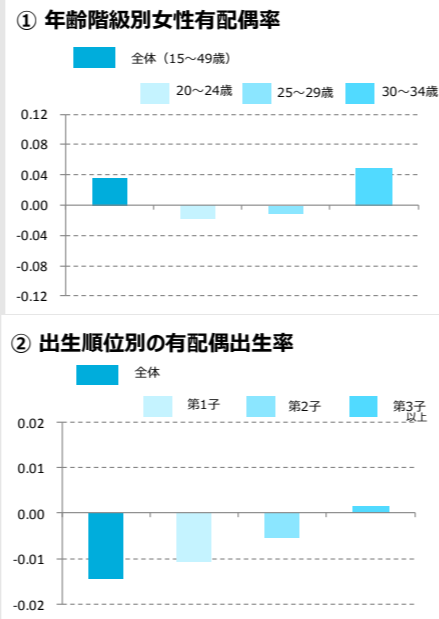
## 1. 合計特殊出生率の推移 (ベイズ推定値)



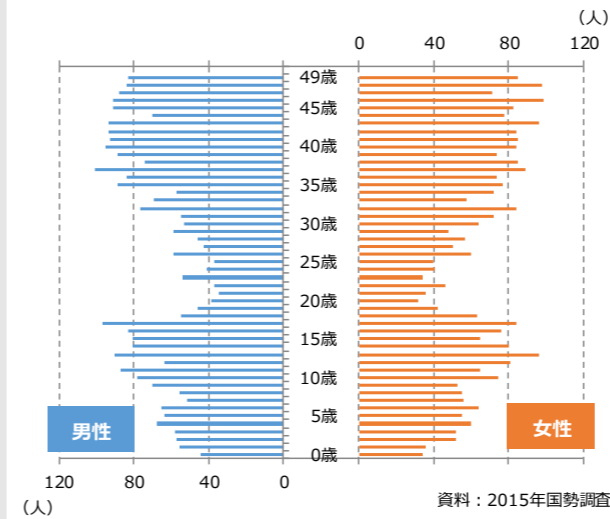
## 2. 有配偶出生率の推移 (ベイズ推定値)



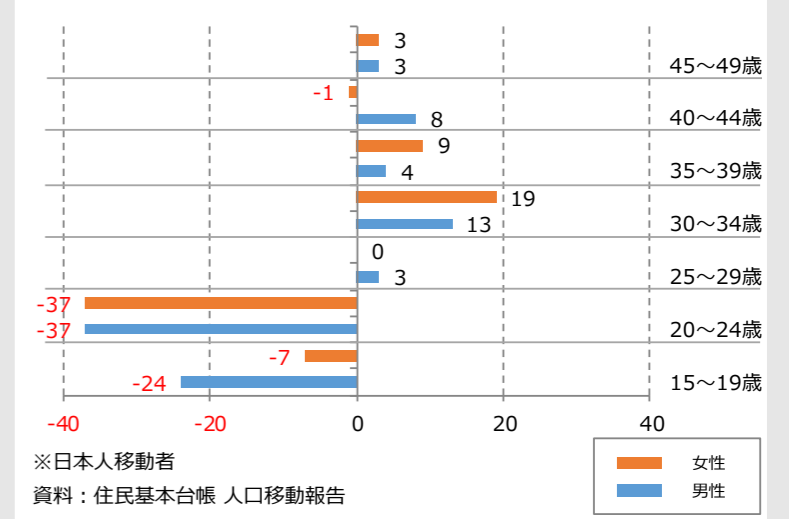
## 3. 愛媛県との差



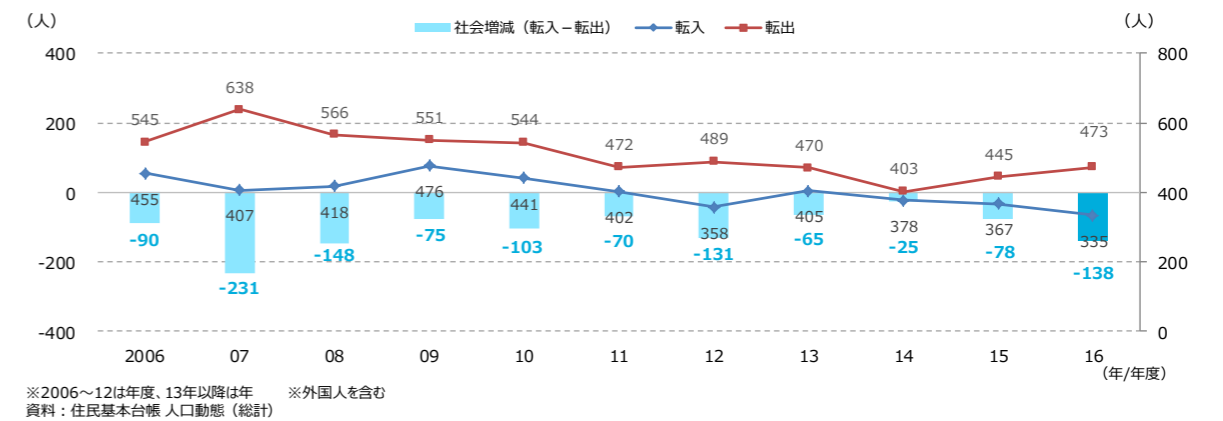
## ■人口



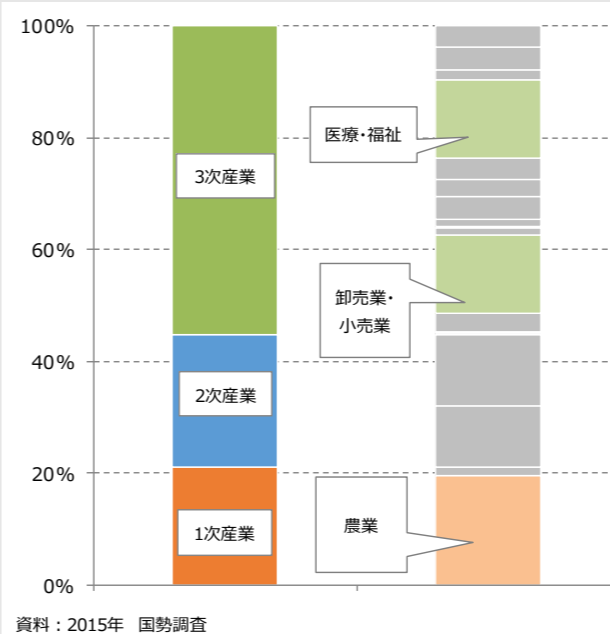
## ■年齢、男女別社会増減 (2017年)



## ■社会増減推移



## ■産業別従事者



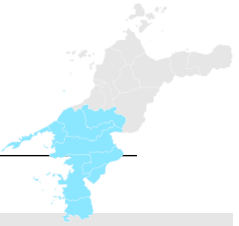
## ■子ども・子育て支援事業計画

●● 基本理念 ●●

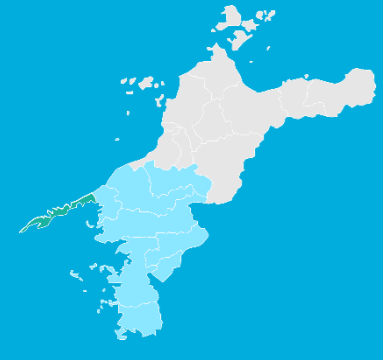
子どもの笑顔がキラリと光る  
子育て応援タウン うちこ

●● 基本的な視点 ●●

- 1 子どもの幸せを第一に考える
- 2 すべての子どもと子育て家庭を支える
- 3 地域社会全体で子どもをはぐむ



# 伊方町



- 合計特殊出生率は県平均を0.09上回り、県内では8番目となっている。
- グラフ3「①年齢階級別女性有配偶率」をみると、20～24歳は県平均を0.045ポイント、25～29歳は0.060ポイント上回っている。
- グラフ3「②出生順位別の有配偶出生率」をみると、第1子、第2子は県平均よりも低く、全体でも0.007ポイント下回っているが、第3子以上の有配偶出生率は0.008ポイント上回っている。
- P.57「第1子・第2子・第3子の母親の平均出産年齢」のうち第3子は県平均よりも0.8歳低いことから、3人以上子どもを産む人が比較的多いということがみてとれる。
- 右ページの「人口」をみると、20歳以上では男性人口が女性人口を上回っており、女性有配偶率の高さに影響している可能性がある。

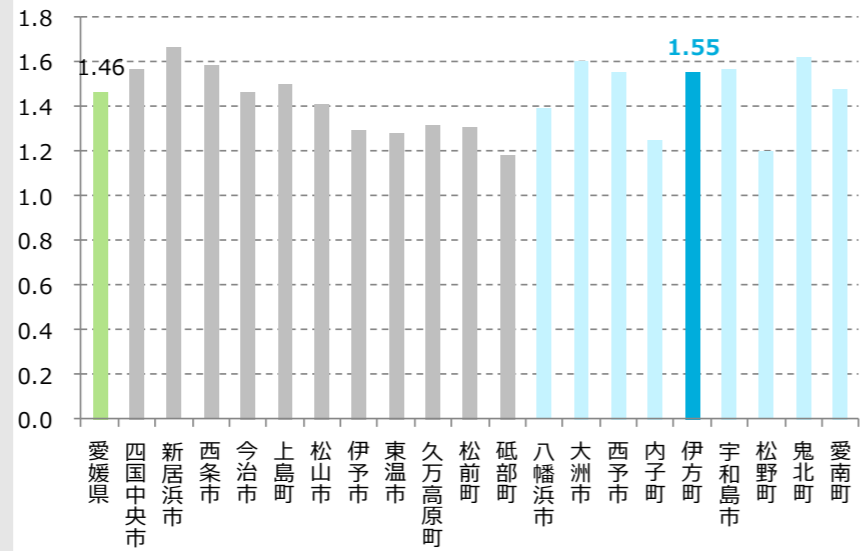
合計特殊出生率  
(2012～2016年平均)

# 1.55

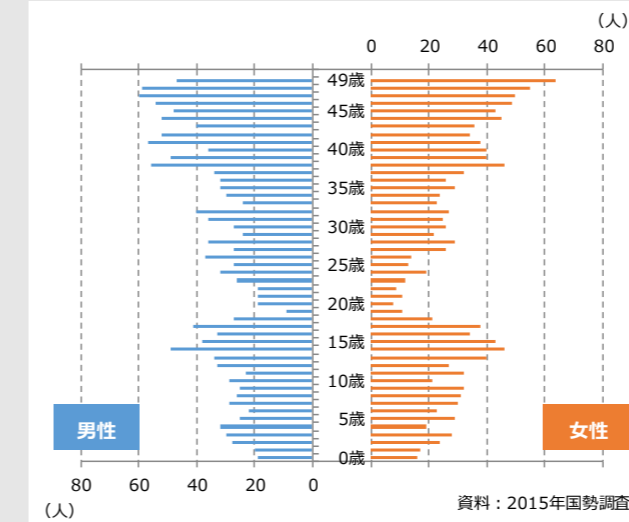
愛媛県との差 +0.09/8位

ベース推定値

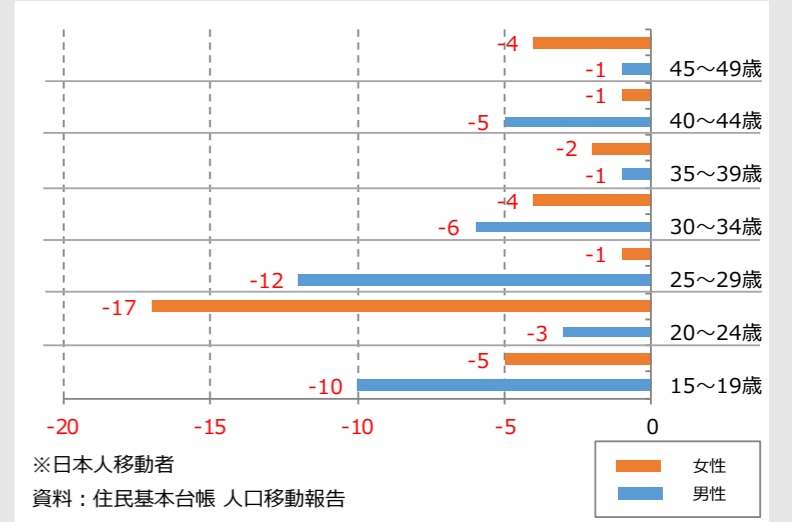
# 1.50



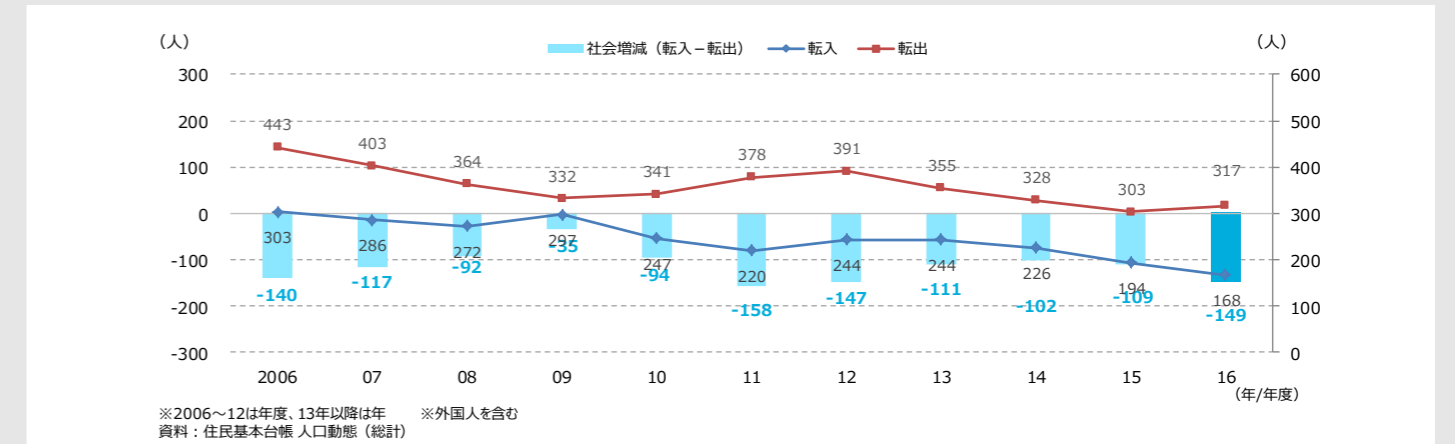
## ■人口



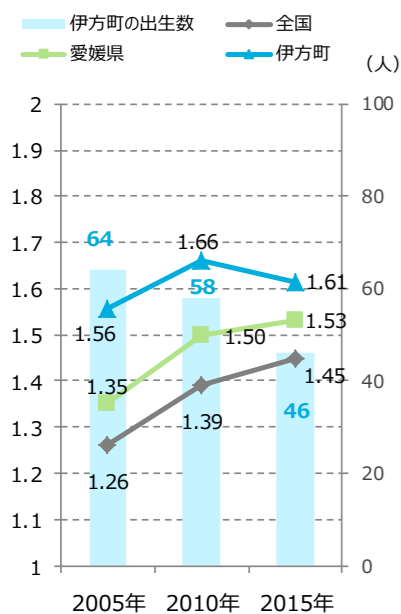
## ■年齢、男女別社会増減（2017年）



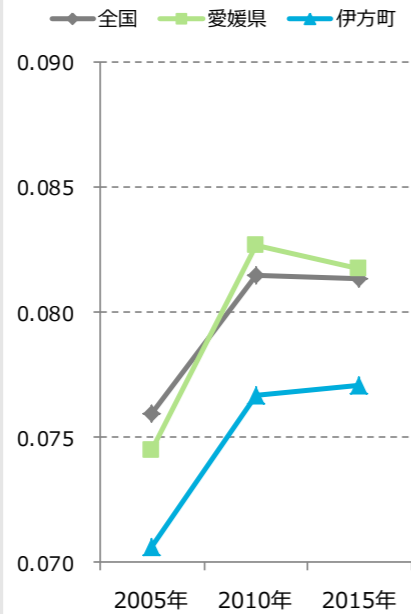
## ■社会増減推移



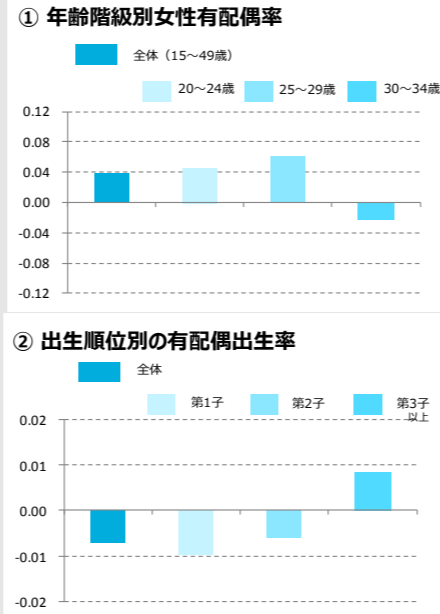
### 1. 合計特殊出生率の推移 (ベース推定値)



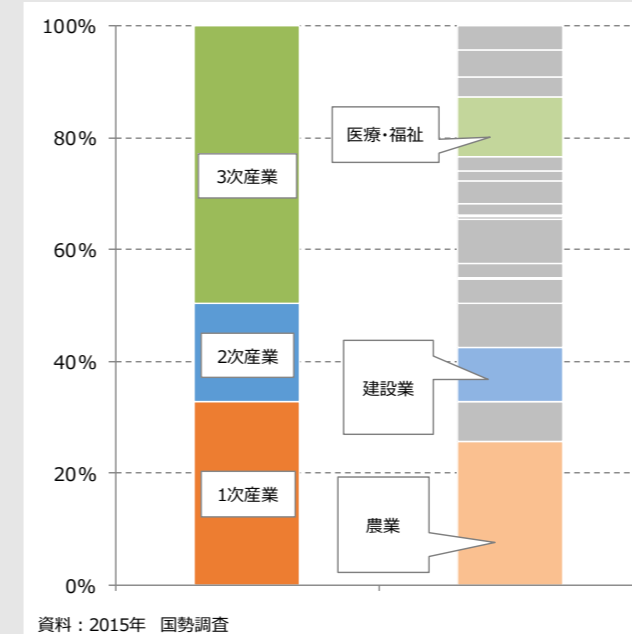
### 2. 有配偶出生率の推移 (ベース推定値)



### 3. 愛媛県との差



## ■産業別従事者



## ■コラム

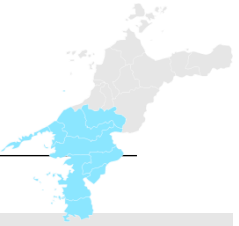
### 「住んでよし、訪れてよし」 町の結婚・子育て支援への取り組み

伊方町では、家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代を担う児童の健全育成及び資質の向上に資することを目的に、第3子以降の児童を養育している人に対して、合計100万円の祝い金を支給している。

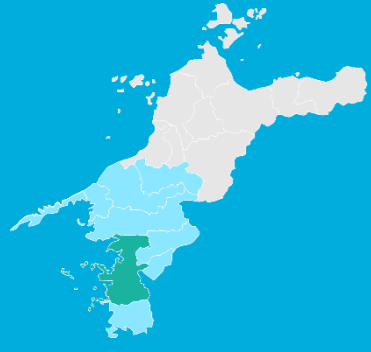
新生児に対し30万円、誕生祝い金として満1歳から満6歳まで年額10万円、また就学祝い金として、就学時に児童に10万円が支給される。

また、結婚した夫婦に対し、29年4月から婚姻届提出時に夫婦のどちらか一方が伊方町に住所を有し、どちらか一方が40歳以下である結婚者1組に対して10万円の支給を始めるなど、結婚した人に対する補助も新たに始めている。





# 宇和島市



- 合計特殊出生率は県平均より0.11 高く、県内では5 番目の高さである。
- グラフ3「①年齢階級別女性有配偶率」をみると、20～24 歳で0.057 ポイント、25～29 歳で0.031 ポイント県平均を上回っている。
- グラフ2「有配偶出生率の推移」をみると2015 年には県平均を上回った。
- また、P.57「第1 子・第2 子・第3 子の母親の平均出産年齢」をみると、第1 子の母親の平均出産年齢が県平均より0.4 歳低いことから、20 代で結婚し、出産する人が多いとみられる。
- グラフ3「②出生順位別の有配偶出生率」は概ね県平均より低い。

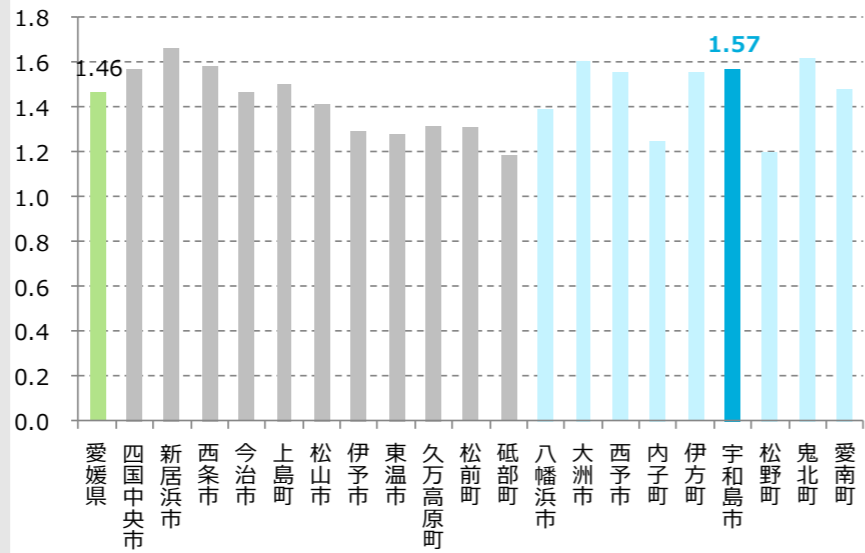
合計特殊出生率  
(2012～2016 年平均)

# 1.57

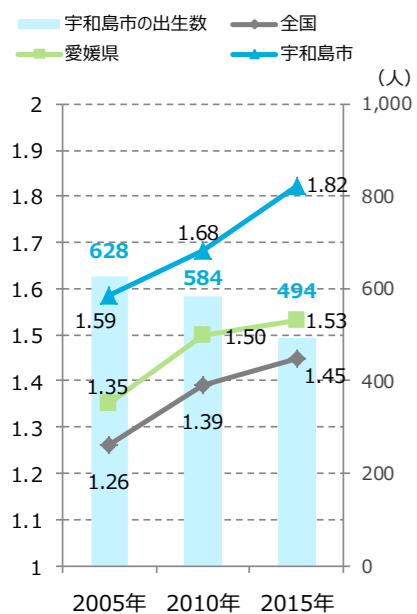
愛媛県との差 +0.11/5 位

ベイズ推定値

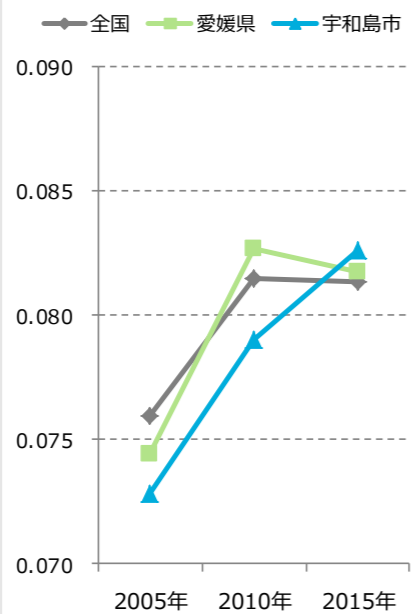
# 1.55



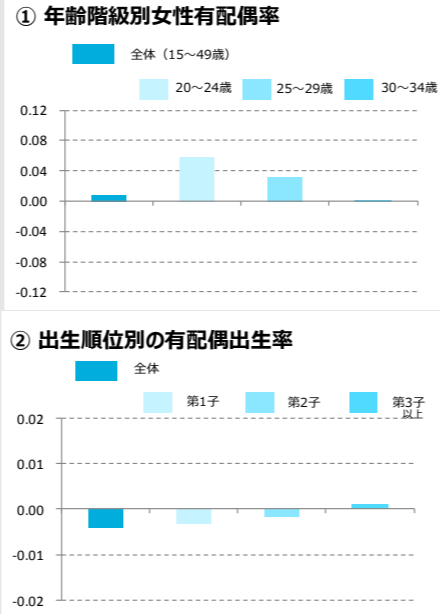
## 1. 合計特殊出生率の推移 (ベイズ推定値)



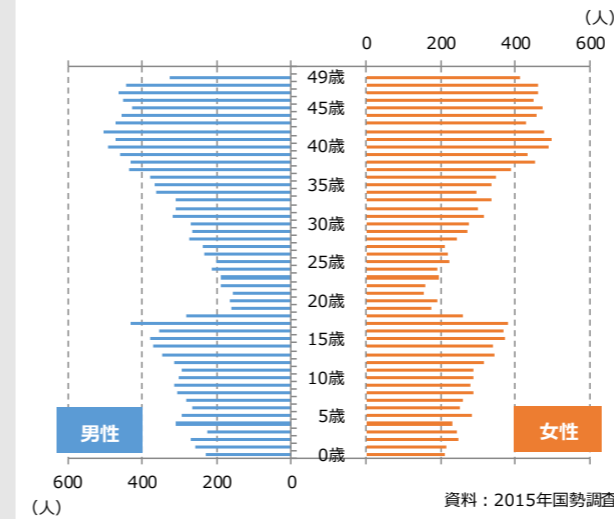
## 2. 有配偶出生率の推移 (ベイズ推定値)



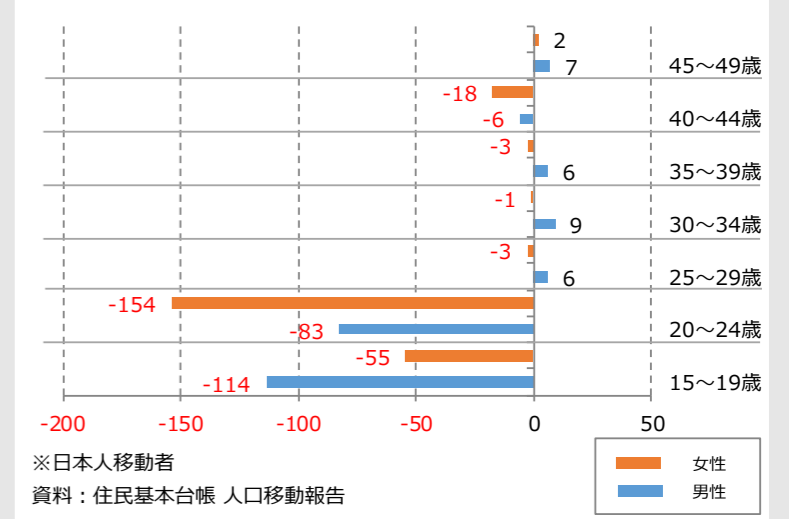
## 3. 愛媛県との差



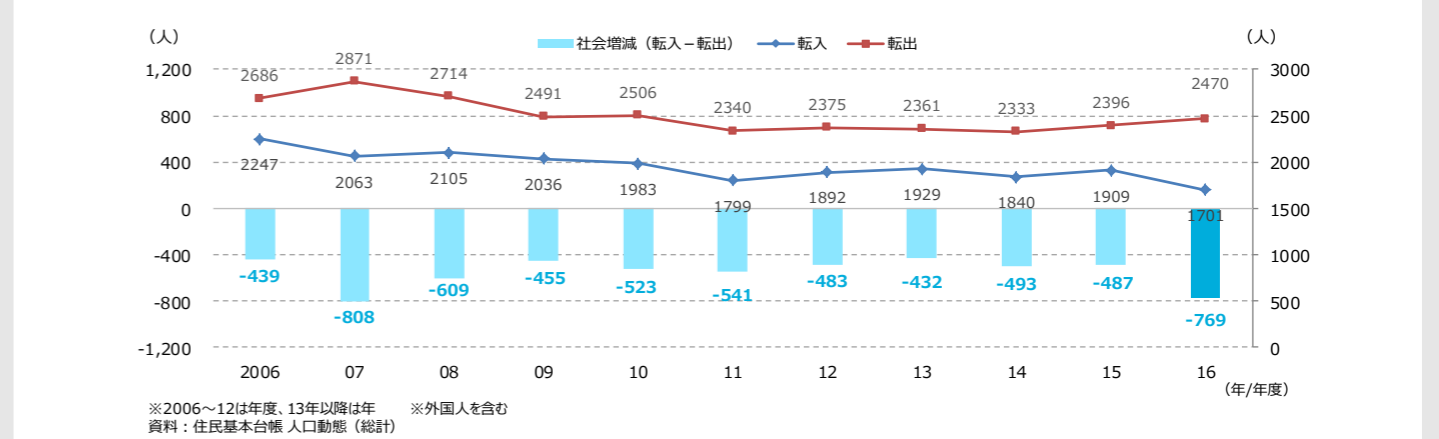
## ■人口



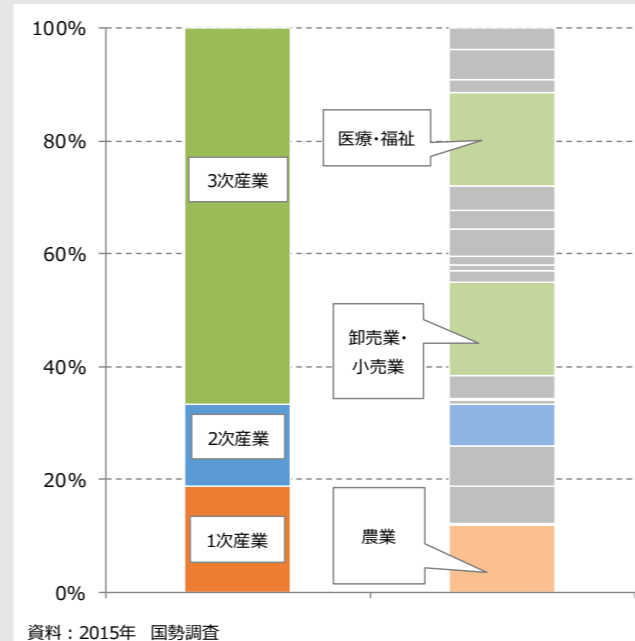
## ■年齢、男女別社会増減 (2017年)



## ■社会増減推移



## ■産業別従事者



## ■コラム

### 移動式赤ちゃんの駅

市内でも赤ちゃん連れで参加できるイベントを積極的に開催できるよう、オムツ交換台や授乳用テント、木のおもちゃ等を無料で貸出。

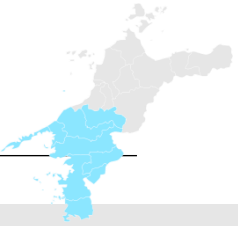
### 子育て応援給付金、絵本の贈呈

新生児の出生の日までに継続して6 カ月以上宇和島市に居住し、引き続き1 年以上居住する意思がある等の要件を満たす方を対象に、新生児1 人につき100,000 円支給。また、8 か月児健康相談に合わせ、ボランティアによる読み聞かせと絵本の贈呈を実施。

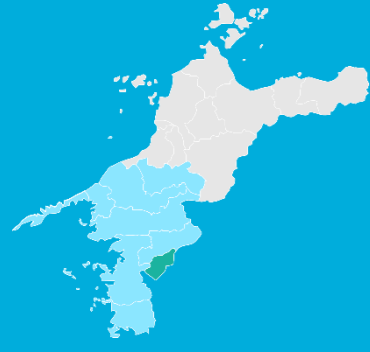
### 給食費の一部補助

安心して義務教育を受けられるよう、宇和島市立小中学校に在籍する児童生徒の給食費は、1 食当たり100 円を補助。





# 松野町



- 合計特殊出生率は県平均を 0.27 下回り、県内では 2 番目に低くなっている。
  - グラフ 1「合計特殊出生率の推移」をみると、合計特殊出生率は上昇傾向にみえるが、出生数は減少している。
  - グラフ 3「②出生順位別の有配偶出生率」は、全体では県平均を 0.021 ポイント下回っている。
- \* 人口が少ない市町では年によってブレが出るため（偶然変動）、一概に比較はできないことに留意する必要がある。

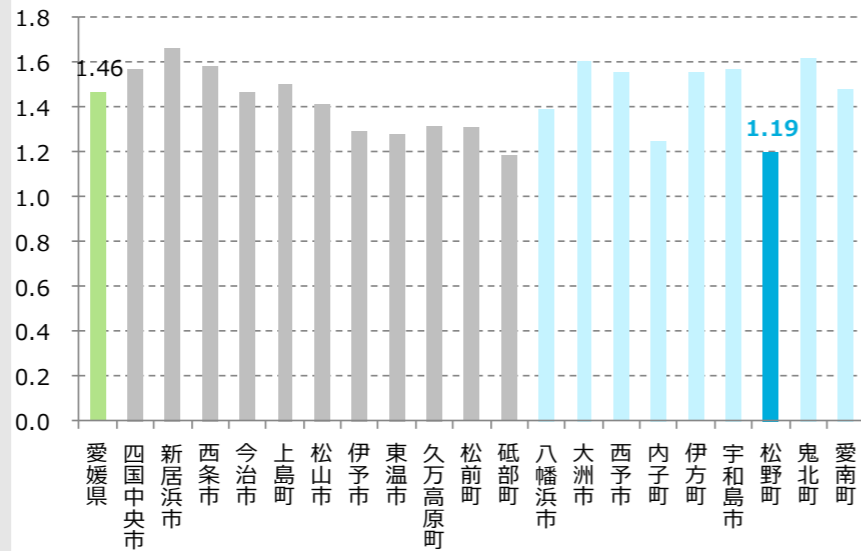
合計特殊出生率  
(2012～2016 年平均)

# 1.19

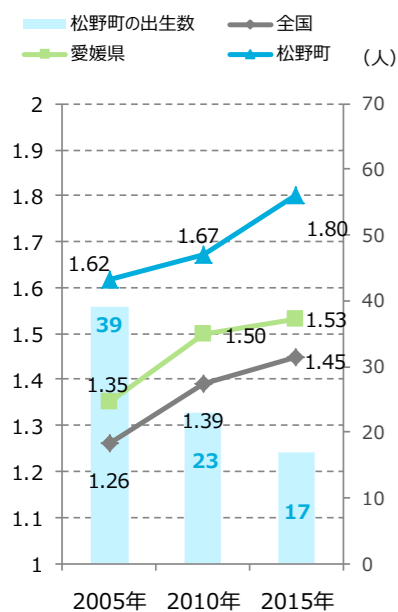
愛媛県との差 -0.27/19 位

ベイズ推定値

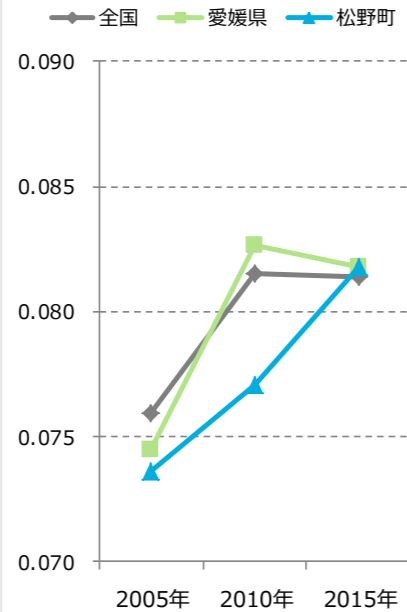
# 1.53



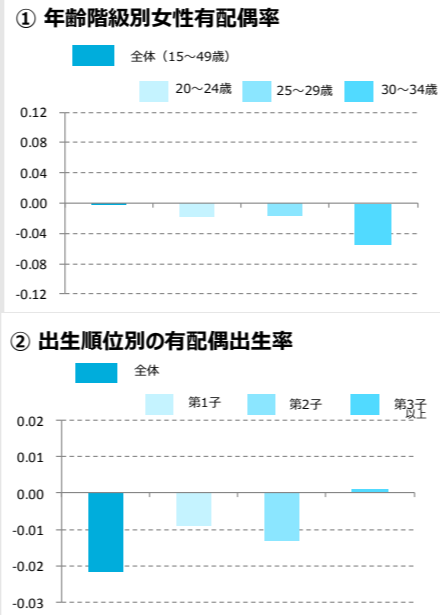
## 1. 合計特殊出生率の推移 (ベイズ推定値)



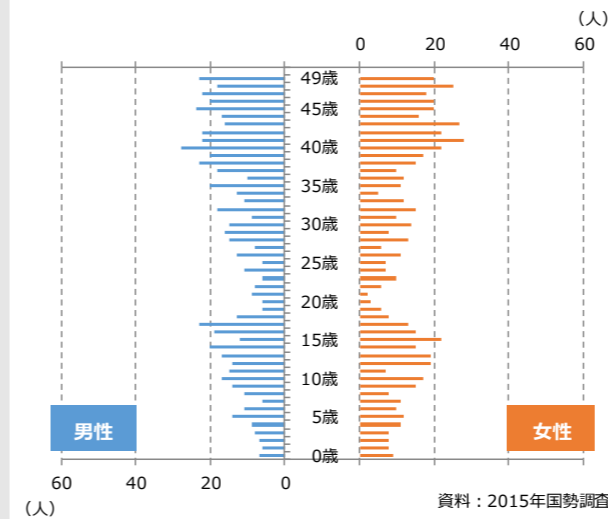
## 2. 有配偶出生率の推移 (ベイズ推定値)



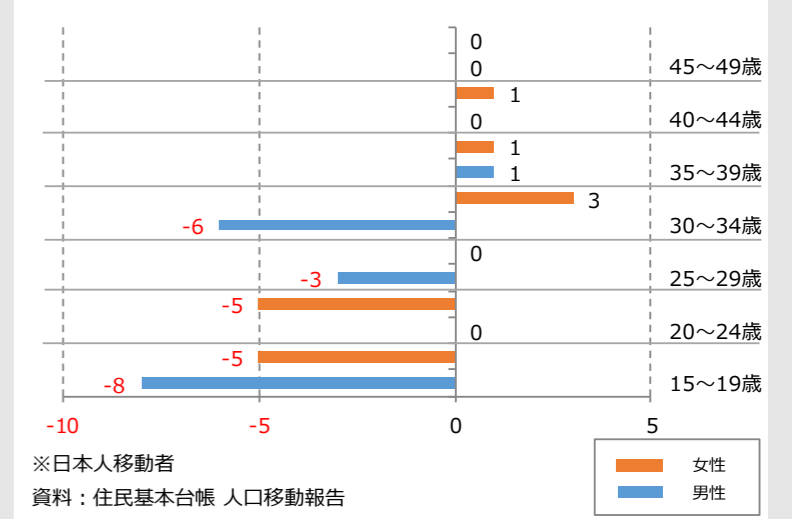
## 3. 愛媛県との差



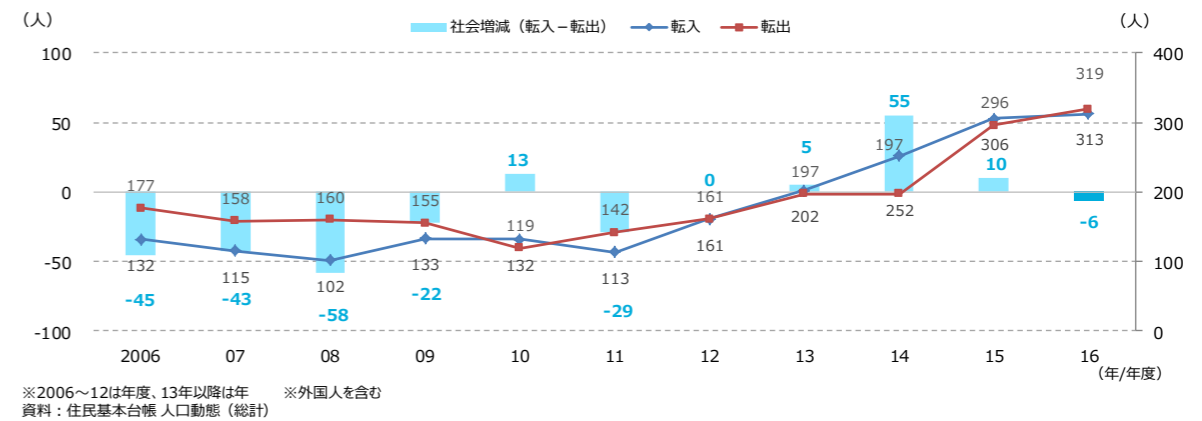
## ■人口



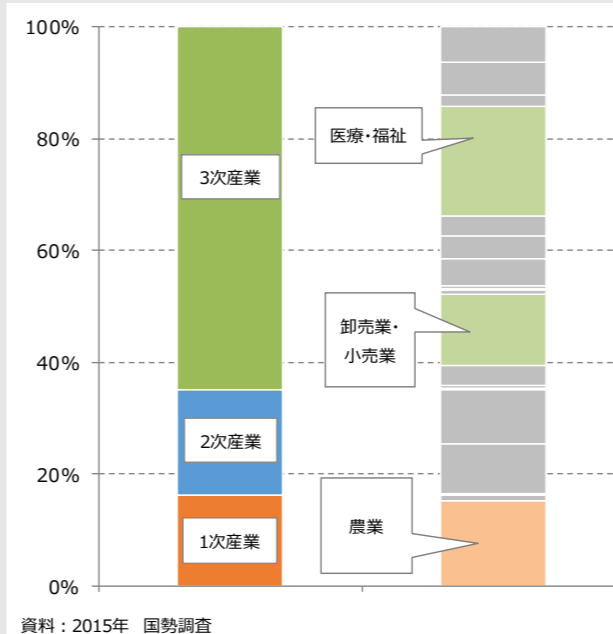
## ■年齢、男女別社会増減 (2017年)



## ■社会増減推移



## ■産業別従事者



## ■コラム

### 県内で最も人口の少ない町 「森の国」の結婚・子育て支援

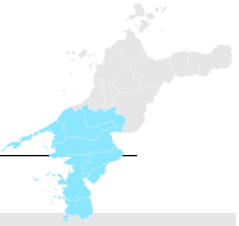
松野町では、28 年度から町内の小中学校に通う児童生徒を対象に、学校給食費の半額補助を行っている。

また、松野町に生活基盤を置き、住民登録をした人が子を出産し、6か月以上養育した場合、第1子・2子に10万円、第3子に50万円、第4子に70万円、第5子以上には100万円の出産祝金を支給する。子育て支援に関する取り組みは「子育て応援パンフレット」にまとめ、町の取り組みが1冊でわかるようしている。

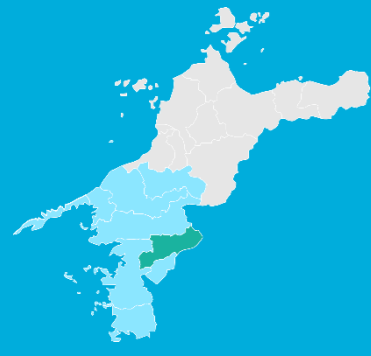
宝島社出版の「田舎暮らしの本」(H30.2月号)では、人口5千人以下「住みたい田舎」ランキングで全国2位になるなど、移住者への定住支援が評価されているほか、中学生の学力テストの結果が県内で常にトップクラスであるなど教育にも力を入れている。







# 鬼北町



- 合計特殊出生率は県平均を0.16上回り、県内では2番目に高い。
  - グラフ3「①年齢階級別女性有配偶率」をみると、25～29歳の女性有配偶率が県平均よりも0.051ポイント高い。
  - また、P.55「年齢階級別出生率」をみると、25～29歳の出生率も県平均を19.3ポイント上回っている。
  - P.57「第1子・第2子・第3子の母親の平均出産年齢」をみると、第1子の平均出産年齢は県平均より0.5歳高いが、第2子は0.7歳、第3子は0.1歳県平均を下回っている。
  - また、グラフ3「②出生順位別の有配偶出生率」では、第3子以上の有配偶出生率が県平均より0.005ポイント高い。
- \*人口が少ない市町では年によってブレが出るため（偶然変動）、一概に比較はできないことに留意する必要がある。

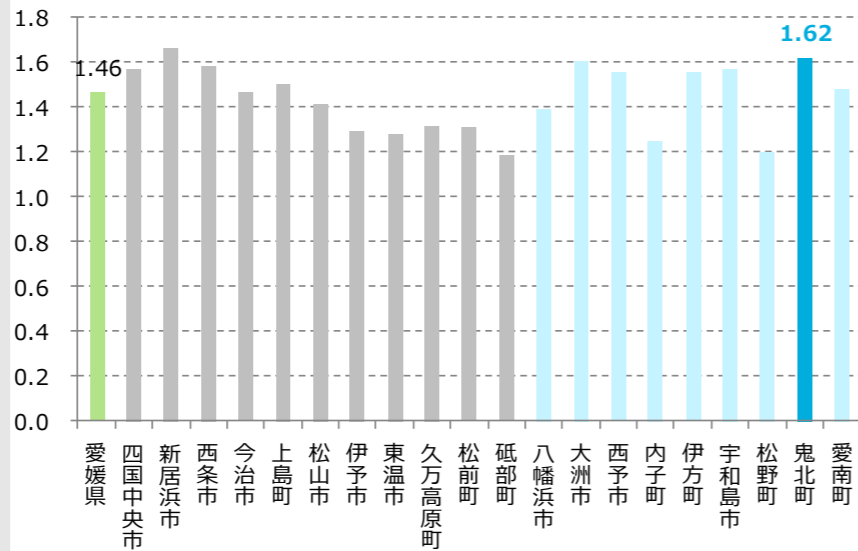
合計特殊出生率  
(2012～2016年平均)

# 1.62

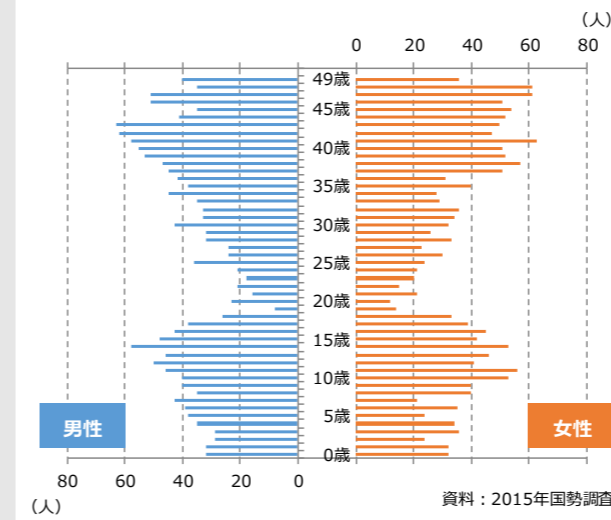
愛媛県との差 +0.16/2位

ベイズ推定値

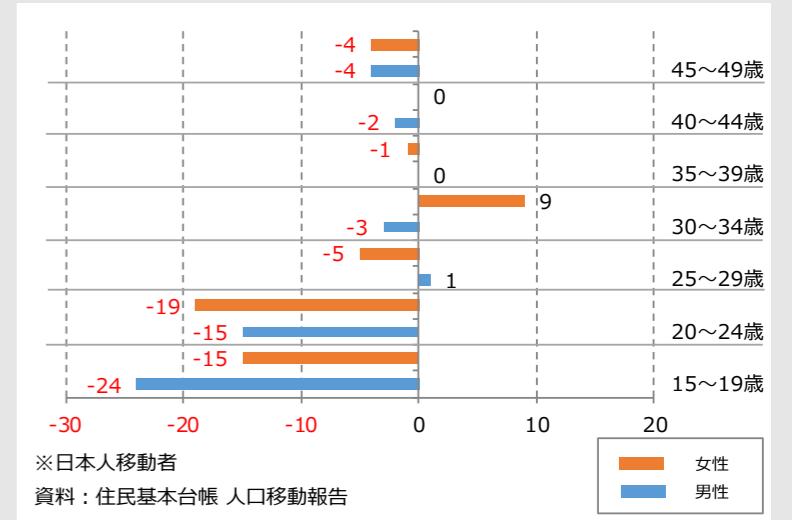
# 1.55



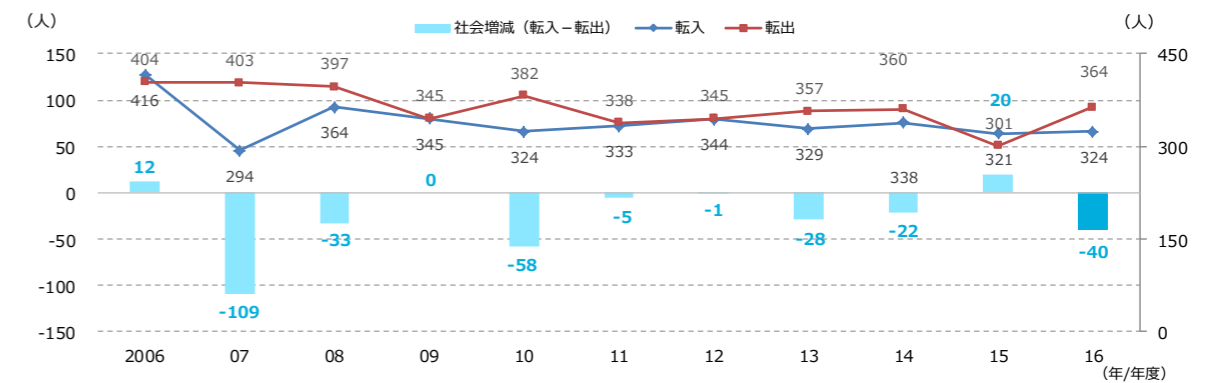
## ■人口



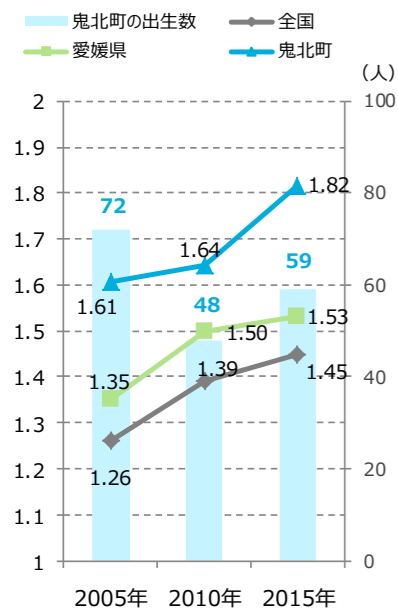
## ■年齢、男女別社会増減（2017年）



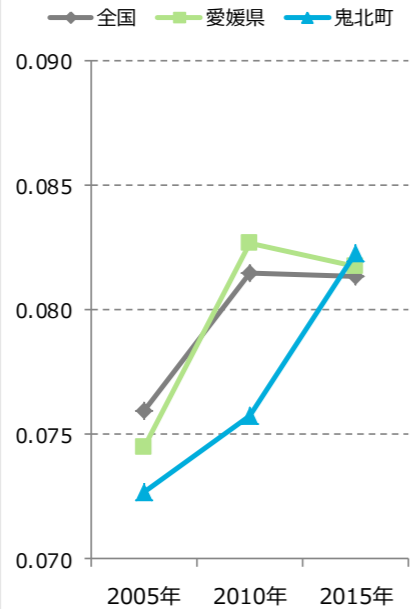
## ■社会増減推移



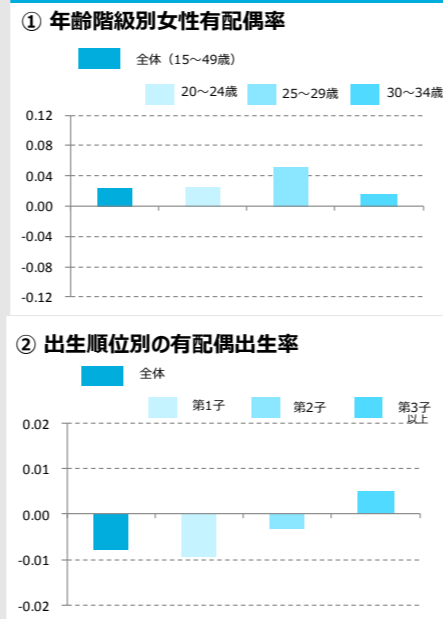
### 1. 合計特殊出生率の推移 (ベイズ推定値)



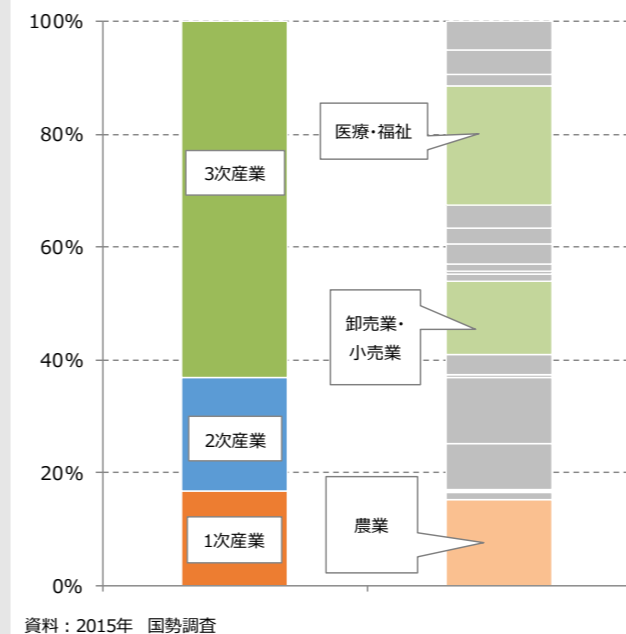
### 2. 有配偶出生率の推移 (ベイズ推定値)



### 3. 愛媛県との差



## ■産業別従事者



## ■コラム

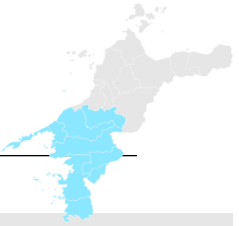
### 全国で唯一の“鬼”がつく町の結婚・子育て支援

鬼北町では、28年度から子ども医療費を入院、通院とも高校生まで全額補助を行っているほか、結婚・出産時に結婚祝、出産祝として商品券を贈呈するなどの取り組みを行っている。

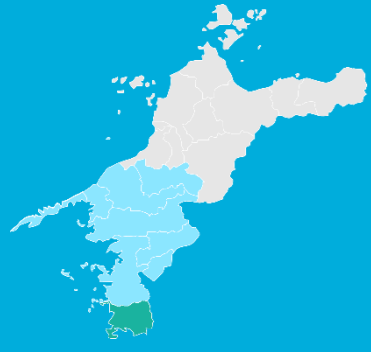
町中心部近くには、ニュータウン鬼北の里を造成・分譲し、町外から移り住む人が増えるよう、住みやすい環境を提供している。

町全体で“鬼”という町の名を活用したプロジェクトが行われている鬼北町では、子育て支援においても独自の取り組みが進められている。





# 愛南町



- 合計特殊出生率は県平均を0.02 上回り 10 位である。
  - グラフ 1「合計特殊出生率の推移」は上昇傾向にみえるが、出生数は減少している。
  - グラフ 3「①年齢階級別女性有配偶率」をみると 20～24 歳の女性有配偶率は県平均より 0.076 ポイント高い。一方、グラフ 3「②出生順位別の有配偶出生率」をみると、全体では県平均より 0.014 ポイント低い。
  - また、P.57「第 1 子・第 2 子・第 3 子の母親の平均出産年齢」をみると、第 1 子の平均出産年齢は県平均より 0.9 歳低い。
  - ほか、P.57「年齢階級別出生率」で 40～44 歳の出生率が県平均より高い点は特徴的である。
- \* 人口が少ない市町では年によってブレが出るため（偶然変動）、一概に比較はできないことに留意する必要がある。

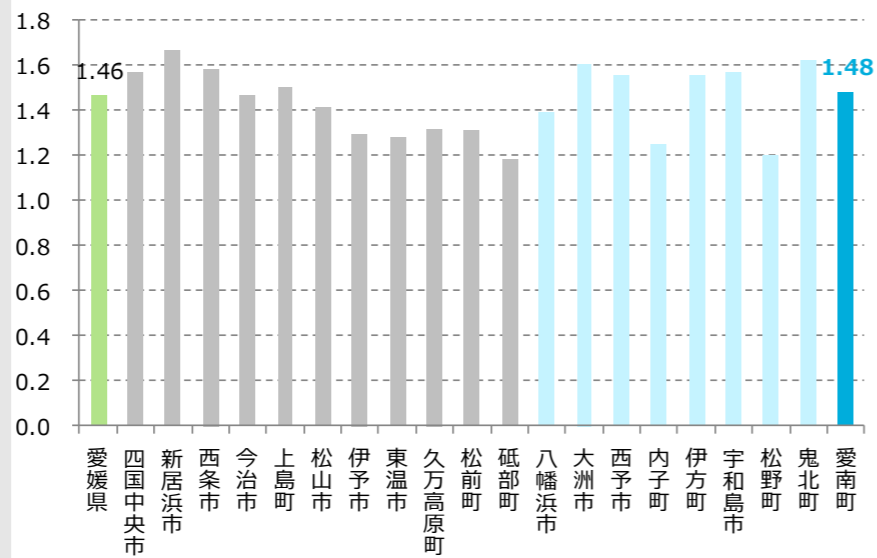
合計特殊出生率  
(2012～2016 年平均)

# 1.48

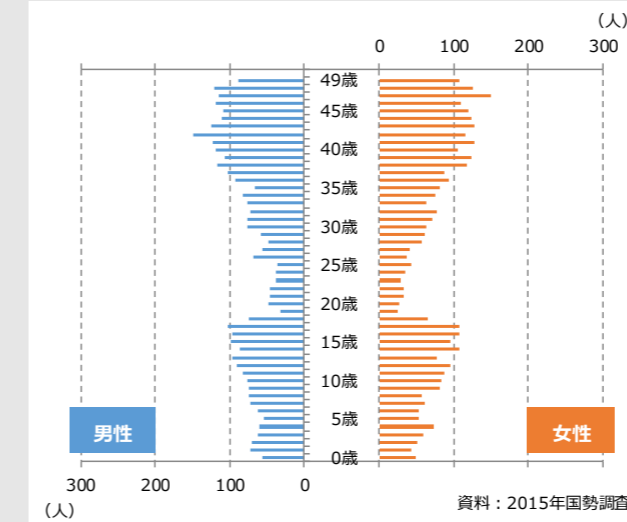
愛媛県との差 +0.02/10 位

ベイズ推定値

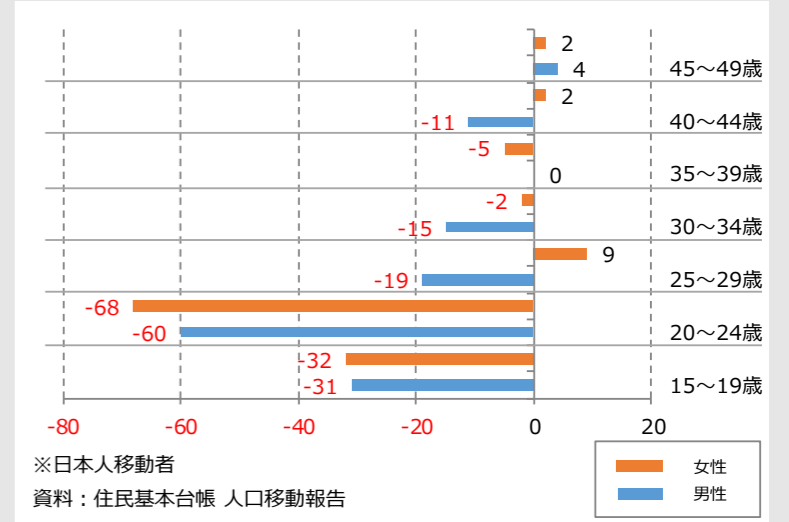
# 1.54



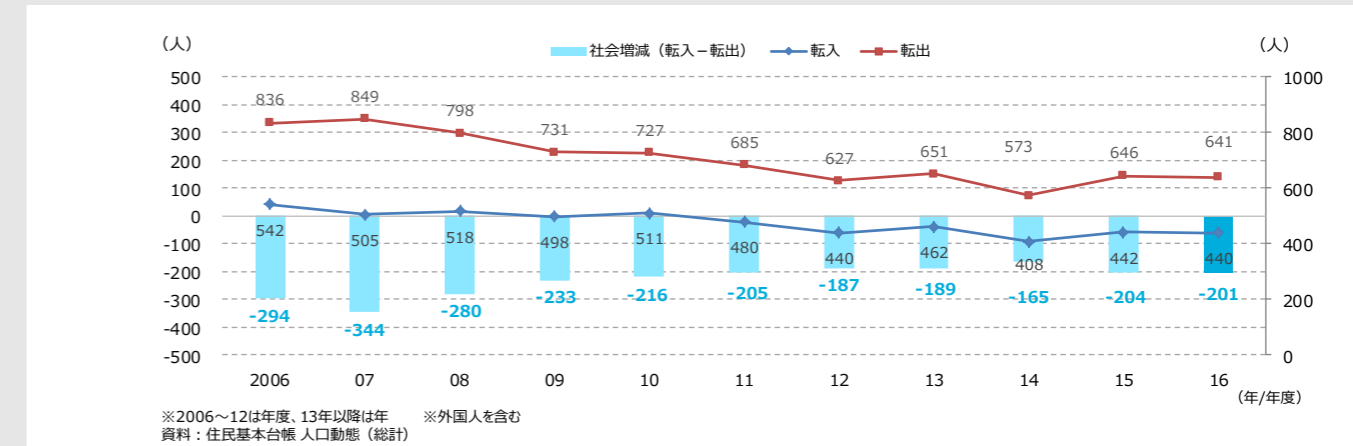
## ■人口



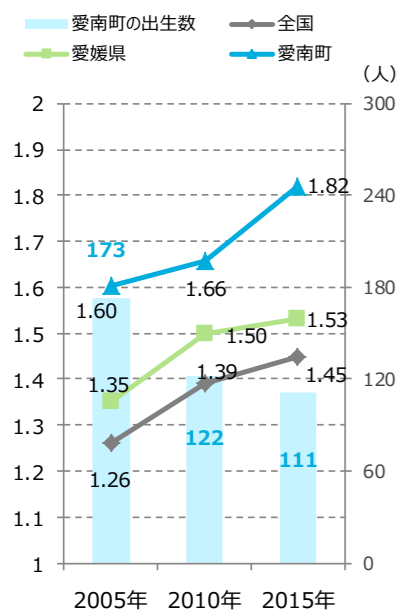
## ■年齢、男女別社会増減（2017年）



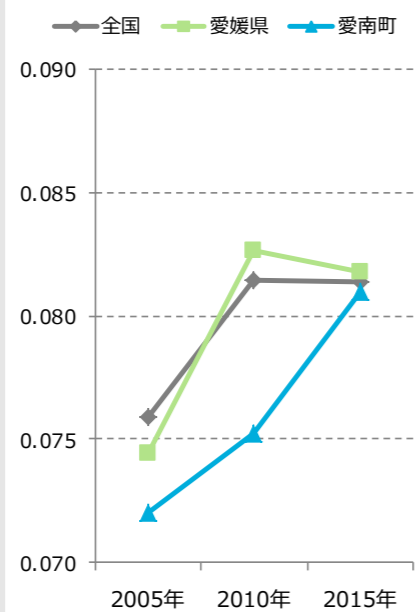
## ■社会増減推移



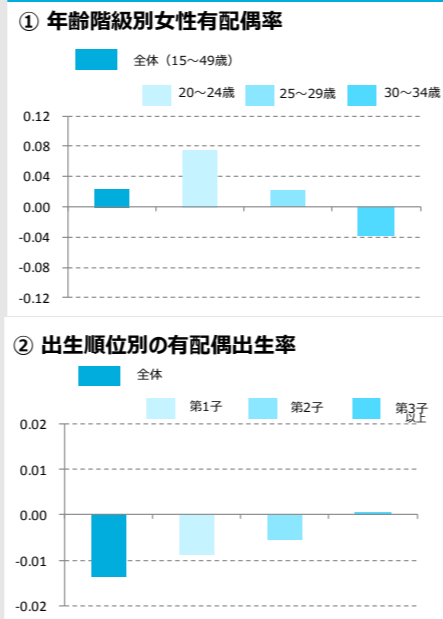
### 1. 合計特殊出生率の推移 (ベイズ推定値)



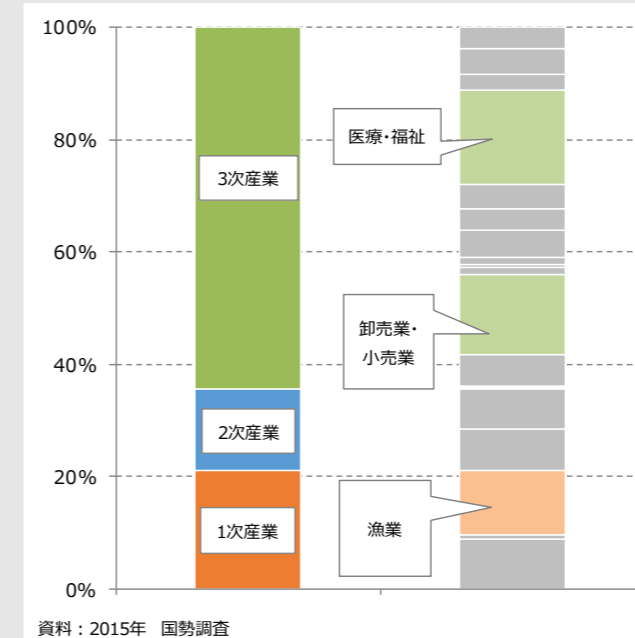
### 2. 有配偶出生率の推移 (ベイズ推定値)



### 3. 愛媛県との差



## ■産業別従事者



## ■子ども・子育て支援事業計画

●● 基本理念 ●●

子どもの笑顔が輝き 未来に羽ばたく 愛南プラン

●● 基本的な視点 ●●

- 1 子どもの権利・利益を最大限尊重します
- 2 すべての親が安心して生み育てることができる環境を目指します
- 3 質の高い教育・保育の提供と量の確保を目指します
- 4 地域全体で子どもたちが健やかに成長する環境を目指します